

TOTO

組立・設置説明書

カウンタープラン

システムドレッサー
エスクアシリーズ

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。



• 本書と併せて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

もくじ

安全上のご注意 ----- 3

1.取り付けの前に ----- 4

- 1) 設置寸法
- 2) 使用条件
- 3) 取り付け条件
- 4) 取り付ける前に
- 5) 付属部品明細
- 6) ブラケットレイアウトプラン
- 7) 取り付け手順

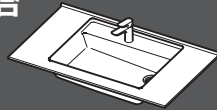
2.トールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。) ----- 10

3.カウンター部取り付け手順 ----- 13

人工大理石製ボウル／陶器製洗面ボウル (ベッセル式) 共通

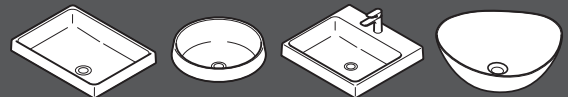
- 1) 固定用ブラケット (左右) の取り付け
- 2) カウンター補強さんの取り付け
- 3) カウンター固定用アングルの取り付け
- 4) ブラケット用サイド幕板の取り付け
- 5) ブラケット用幕板および補強金具のカット
- 6) 固定用ブラケットとブラケット用幕板の取り付け

人工大理石製ボウルの場合



- 7) 水栓の取り付け
- 8) カウンターの取り付け
- 9) 補強用ブラケットの取り付け
【カウンター間口1201mm以上の場合】
- 10) バックパネルの取り付け

陶器製洗面ボウル (ベッセル式) の場合



- 8) カウンターの取り付け
- 9) 補強用ブラケットの取り付け
【カウンター間口1201mm以上の場合】
- 10) バックパネルの取り付け
- 11) 排水栓本体の取り付け
- 12) 洗面器の取り付け
- 13) 水栓の取り付け
- 14) ワンプッシュ操作部の取り付け
【アクアオートとの組み合わせの場合のみ】

人工大理石製ボウル／陶器製洗面ボウル (ベッセル式) 共通

- 15) 止水栓の取り付け
- 16) 給水・給湯の接続
- 17) 排水トラップの取り付け
- 18) 水受けトレイの取り付け【ホース引き出し式水栓の場合】
- 19) 機器類の取り付け
- 20) 化粧鏡の取り付け

4.ウォール部取り付け手順 ----- 25

- 1) 扉の取り外し
- 2) ウォールキャビネット用エンドスペーサーの取り付け
- 3) パッキンの取り付け
- 4) キャビネットの取り付け

5.仕上げ ----- 27

- 1) コーキング処理
- 2) 壁やトールキャビネットとの処理
- 3) 陶器製洗面ボウル (ベッセル式) 洗面器まわりの処理
- 4) 扉・引き出しの取り付け・調整
- 5) 取り付け完了後の確認と清掃
- 6) 寒冷地タイプの水抜き

安全上のご注意

- ・取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- ・この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただくために必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この記号は、してはいけない「禁止」内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

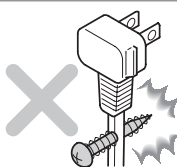
●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

浴室などの湿気が多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

電源コードに傷をつけない
漏電および火災の原因になります。



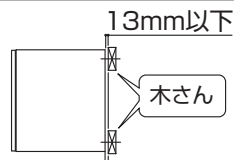
禁止

コードの上に商品をのせたり、商品と商品の間にかみこませたりしない

断線などにより発熱、発火がおこり火災や感電するおそれがあります。

水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って
必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災・感電および水漏れの原因となります。

壁固定用ねじ取付位置に
木さんを入れて補強する
鏡が落下したりキャビネットが
転倒しけがをするおそれがあります。



必ず実行

取り付け後、すべての取り付けねじが確実に固定
されていることを確認する

商品が落下し、けがをするおそれがあります。

取り付けねじをカラまわり(空転)をさせない

取り付けねじが1本でもカラまわり(空転)していると、商品が
ぐらつくおそれがあります。

電源はAC100Vを使用する

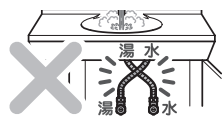
AC100V以外を使用すると
過電流による火災の原因になります。



注意

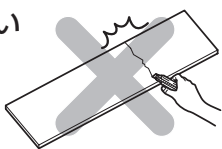
湯・水を逆に配管しない

水側でいきなり湯が出て、
やけどをするおそれがあります。



現場でパネルの加工をしない

パネルが破損し、けがをする
おそれがあります。



禁止

パネルをカウンターや
壁などにぶつけない

パネルが破損し、けがをする
おそれがあります。



洗面ボウルにのらない

故障および転落・転倒して
けがをするおそれがあります。

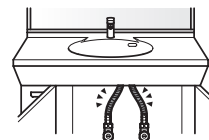


取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを
必ず確認する

水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工
事を行う

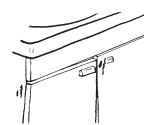
凍結破損で水漏れし家財などに
損害を与える原因になります。



必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの
固定・扉の傾き・がたつき・丁番
のゆるみがないかを必ず確認する

使用中にキャビネット・扉が落下して
けがをするおそれがあります。



ミラーマットの取り付けは、確実に
行う

鏡に力がかかったとき、鏡が破損してけがをするおそれがあります。

1. 取り付けの前に

1) 設置寸法

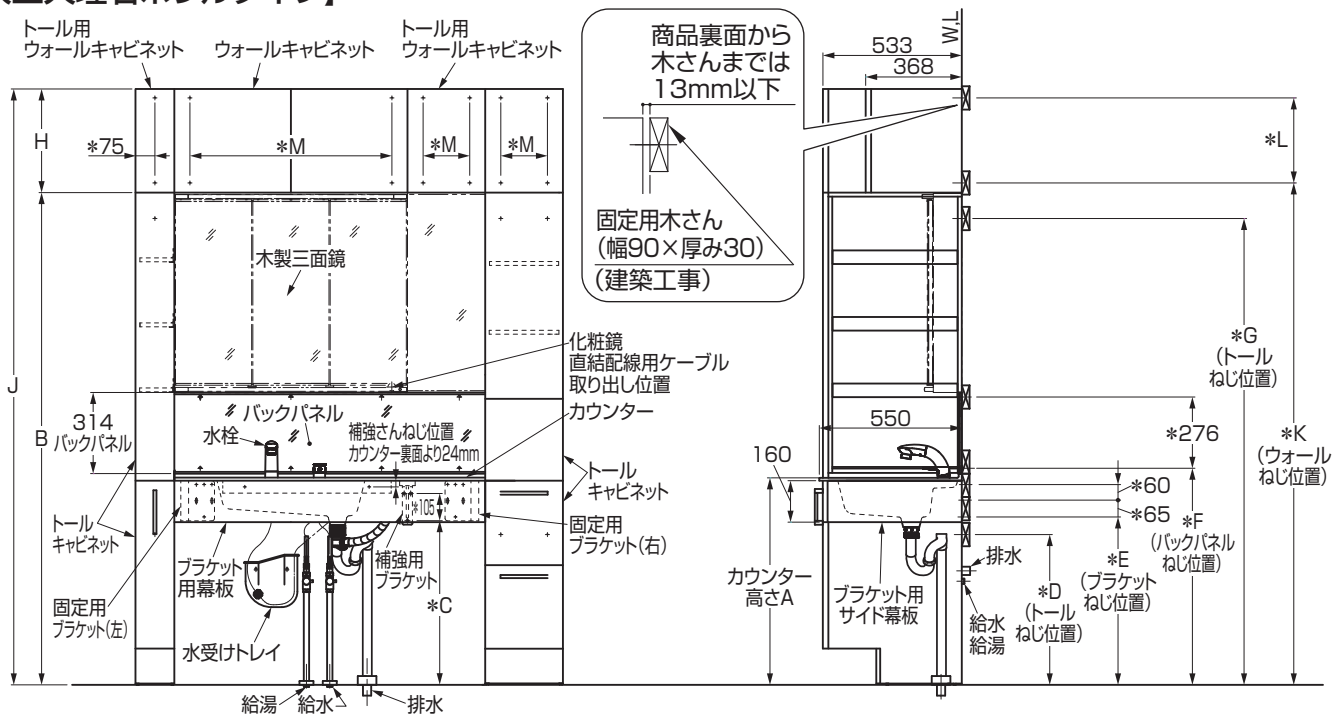
- 特注品の場合の工事寸法は、商品図を確認してください。
- 給水・給湯・排水位置は、商品図を確認してください。
- 化粧鏡の直配線用ケーブル取り出し位置およびねじ位置は商品図を確認してください。
- *印の寸法はねじ位置を示します。

※1の商品高さの場合、バックパネルは設置できません。

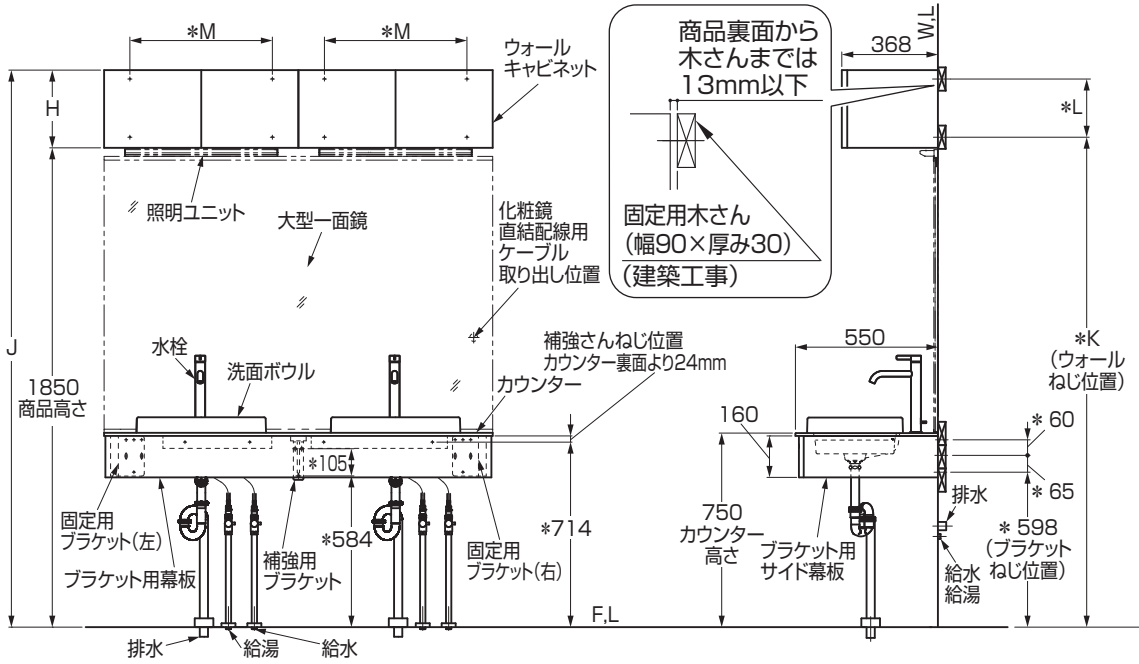
カウンター高さ	商品高さ		ねじ位置				ウォールキャビネット高さ	商品高さ	ねじ位置	
	A	B	C	D	E	F			G	H
750	1800 ^{*1}	584	530	598	-	-	300	2100	1840	220
					-	-	400	2200		320
	1850	584	530	598	788	1750	300	2150	1890	220
					-	-	400	2250		320
800	1800 ^{*1}	634	580	648	-	-	300	2100	1840	220
					-	-	400	2200		320
	1900	634	580	648	838	1800	300	2200	1940	220
					-	-	400	2300		320

キャビネットサイズ	250	300	450	600	650	750	800	850	900	950	1000	1050	1100	1150	1200
壁固定位置 M	130	180	330	480	530	630	680	730	780	830	880	930	980	1030	1080

【人工大理石ポウルタイプ】



【陶器洗面ボウル(ベッセル式)タイプ】



1
取り付けの前に

【壁排水】

※LXTH521-4を組み合わせせて接続します。

【床排水】

洗面器タイプ	排水金具品番
角形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・インセット)	LHA002CNS1
角形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)	
丸形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)	
TA 洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)	LHA002CNT1
人工大理石製ボウル	LHA002PNS1

【壁給水】

止水栓品番	数量
LTLC4A1	2個

※自動水栓は水栓付属の壁用止水栓 (フィルター付き) を使用してください。

【床給水】

洗面器タイプ	カウンター高さ	止水栓品番	数量
角形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・インセット)	750	給水・給湯 LTLC4B	2個
角形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)		給水・給湯 LTLC4B9	2個
丸形洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)			
TA 洗面器 (陶器製洗面ボウル (ベッセル式) ・アウトセット)			
人工大理石製ボウル (エアインシャワー水栓 (2穴タイプ) LHATLG04309型)	750	給水・給湯 LTLC4B11	2個
	800	給水・給湯 LTLC4B9	2個
人工大理石製ボウル (ハイネックスウィング水栓<手動> (1穴タイプ) LHATLG12301型)	750	給湯 LTLC4B11	各1個
		給水 LTLC4B9	
	800	給湯 LTLC4B9	各1個
		給水 LTLC4B10	
人工大理石製ボウル (上記以外)	750	給水・給湯 LTLC4B9	2個
	800	給水・給湯 LTLC4B10	2個

2) 使用条件

※水栓金具・機器類の使用条件は、専用の施工説明書をご参照ください。

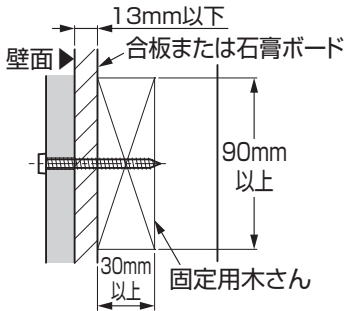
3) 取り付け条件



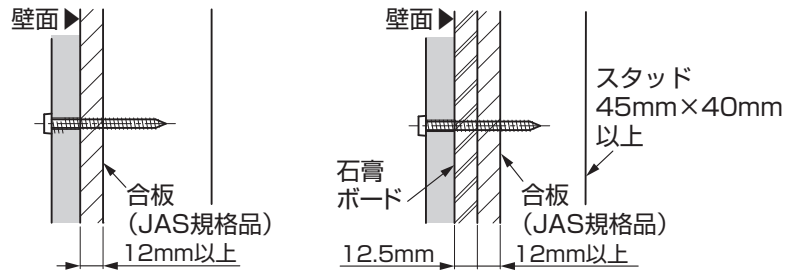
必ず実行

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
- 固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の表面全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。(建築工事)
- 下図に示す以外の壁に設置しないでください。商品が落下し、けがをするおそれがあります。

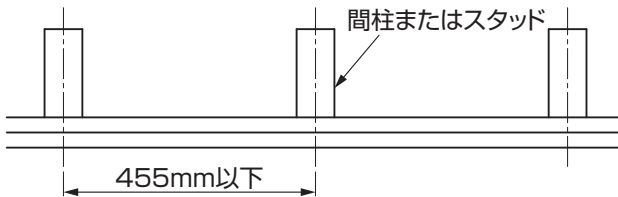
【木軸壁】



【LGS壁】※ねじ固定がLGS位置になる場合はφ4.5下穴を開けてください。



- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。
- 洗面化粧台・化粧鏡を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- カウンター周りの壁は、湿気や被水の影響に配慮した壁仕上げ(下地材・表面材)としてください。
- 間柱またはスタッドのピッチは455mm以下としてください。

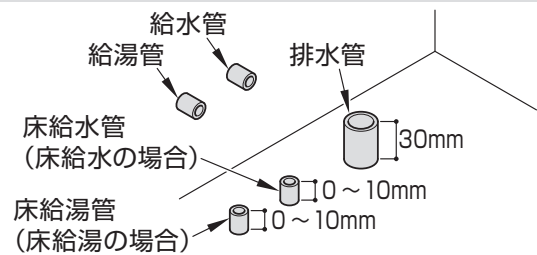
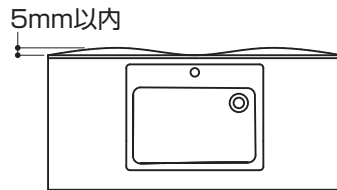


- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコン系シール材でシールしてください。

化粧台取り付け壁面の水平・垂直の精度が出ていること壁面の平面度により、建築躯体、壁面への被水、汚損などが生じるおそれがあります。

カウンター止水パッキン(クッション材)を確実につぶすために平面度は5mm以内におさえてください。



4) 取り付ける前に

【確認1】

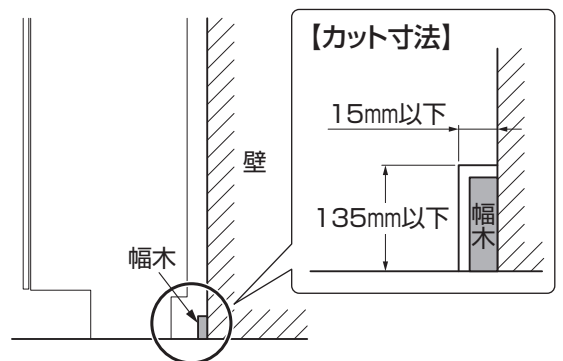
壁に幅木はありますか？

→壁に幅木があり、洗面化粧台をそのまま設置できない場合、右記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。

【確認2】

天井フィラーを取り付けますか？

→取り付ける場合は、天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。



5 付属部品明細

【固定用ブラケット (RL 合計数量)】

名称	数量	名称	数量
アングル	4 個	皿小ねじ (M4×14)	8 本
カウンター固定用 なべタッピンねじ (φ4×20)	8 本	壁固定用 なべタッピンねじ (φ6×60)	12 本

【ブラケット用サイド幕板】 (RL 合計数量)

名称	数量
サイド幕板固定用 トラスタッピンねじ (φ4×16)	8 本

【ブラケット用幕板】

名称	数量	名称	数量	
補強金具固定用 トラスタッピンねじ (φ4×14)	750～850 サイズ: 2 本	補強さん	750～1450 サイズ: 1 本	
	900～1150 サイズ: 3 本		1500～1850 サイズ: 2 本	
	1200～1450 サイズ: 4 本	補強金具 (アルミ製)	1 本	
	1500～1750 サイズ: 5 本		取扱説明書 セット	1 セット
	1800・1850 サイズ: 6 本			
補強さん固定用 なべタッピンねじ (φ6×60)	750～1450 サイズ: 2 本	取扱説明書 セット	1 セット	
	1500～1850 サイズ: 4 本			

【カウンター】

名称			カウンター後方 貼り付け用 クッション材 (黒)	クッション材 (グレー)	アングル	お客様 アンケート セット
数 量	人工 大理石製 ボウル	センター ボウル	850～1850	1 セット	1 セット	1 セット
		片寄せボウル	1000～1850			
		2連ボウル	1500～1850			
	陶器製 洗面ボウル (ベッセル式)	センター ボウル	750～849			
			850～1850			
		片寄せボウル	1000～1850			
	2連ボウル	1500～1850				

【バックパネル】





名称	数量				
	750 サイズ	800～ 850 サイズ	900～ 950 サイズ	1000～ 1450 サイズ	1500～ 1850 サイズ
上フレーム	1 個				
下フレーム	1 個				
サイドクッション	2 個				
フレーム固定用タッピンねじ (φ4.5×50)	4 本	5 本	6 本	8 本	10 本

1

取り付けの前に




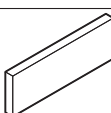
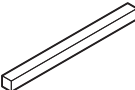




5) 付属部品明細 (つづき)

【ウォールキャビネット】

名称	数量	数量			
		奥行 371		奥行 536	
		250～450 サイズ	750～1200 サイズ	150 サイズ	150 サイズ以外
壁固定用座付タッピンねじ (φ5.2×55)		4本	4本	2本	4本
連結用座付タッピンねじ*1 (φ3.9×28)		2本	2本	3本	4本
化粧キャップ		6個	6個	5個	8個
パッキン		1個	1個	1個	1個

※1：隣接するキャビネットがない場合は使用しません。

【トールキャビネット】

名称	数量	数量			
		150 サイズ	250 サイズ	300・450 サイズ	
フロア部	壁固定用ねじ (φ5.2×55)		1本	2本	2本
	連結用ねじ*1 (φ3.9×28)		2本	2本	2本
	化粧キャップ		3個	4個	4個
	すき間パッキン (2×10)		—	1個	1個
	パッキン (10×10) ※使用しません。		—	1個	1個
	ミドル部	壁固定用ねじ (φ5.2×55)		1本	2本
連結用ねじ*1 (φ3.9×28)			—	2本	2本
化粧キャップ			1個	4個	2個
穴ふさぎ用*2 化粧キャップ			4個	—	—

※1：隣接するキャビネットがない場合は使用しません。

※2：壁、もしくは隣接するキャビネットがある場合は使用しません。

セット品番	ミドルキャビネット	フロアキャビネット
LTSHA015ANL型	LLHA015GNL型	LBHA015ANG型
LTSHA015ANR型	LLHA015GNR型	
LTSHA015BNL型	LLHA015GNL型	LBHA015BNG型
LTSHA015BNR型	LLHA015GNR型	
LTSHA025AGL型	LLHA025GNL型	LBHA025ANL型
LTSHA025AGR型	LLHA025GNR型	LBHA025ANR型
LTSHA025BGL型	LLHA025GNL型	LBHA025BNL型
LTSHA025BGR型	LLHA025GNR型	LBHA025BNR型
LTSHA025ANL型	LLHA025GNL型	LBHA025ANG型
LTSHA025ANR型	LLHA025GNR型	
LTSHA025BNL型	LLHA025GNL型	LBHA025BNG型
LTSHA025BNR型	LLHA025GNR型	
LTSHA030AGL型	LLHA030GNL型	LBHA030ANL型
LTSHA030AGR型	LLHA030GNR型	LBHA030ANR型
LTSHA030BGL型	LLHA030GNL型	LBHA030BNL型
LTSHA030BGR型	LLHA030GNR型	LBHA030BNR型
LTSHA030ANL型	LLHA030GNL型	LBHA030ANG型
LTSHA030ANR型	LLHA030GNR型	
LTSHA030BNL型	LLHA030GNL型	LBHA030BNG型
LTSHA030BNR型	LLHA030GNR型	
LTSHA030AGL型	LLHA045GNL型	LBHA045ANL型
LTSHA045AGR型	LLHA045GNR型	LBHA045ANR型
LTSHA045BGL型	LLHA045GNL型	LBHA045BNL型
LTSHA045BGR型	LLHA045GNR型	LBHA045BNR型
LTSHA045ANL型	LLHA045GNL型	LBHA046ANG型
LTSHA045ANR型	LLHA045GNR型	
LTSHA045BNL型	LLHA045GNL型	LBHA045BNG型
LTSHA045BNR型	LLHA045GNR型	

【補強用ブラケット】

名称	数量	名称	数量	名称	数量
補強用 ブラケット	1個	壁固定用 なべタッピンねじ (φ6×60)	3本	カウンター固定用 なべタッピンねじ (φ4.5×16)	4本

※カウンター間口 750～1200mm までは付属されません。

6) ブラケットレイアウトプラン

- 設置前に必ずレイアウトをご確認ください。
レイアウトにより取り付け手順が異なります。

A. 両側オープンの場合

単独設置の場合

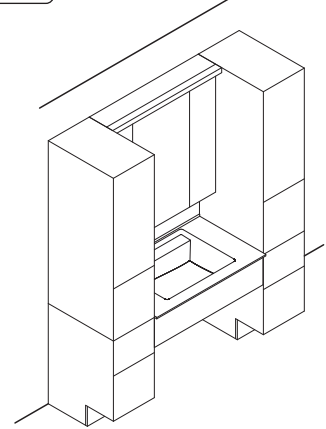
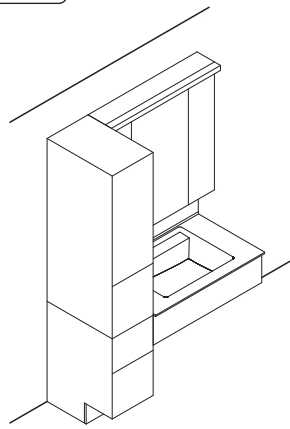
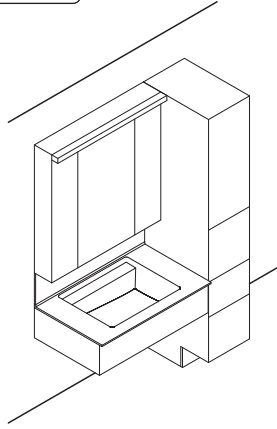
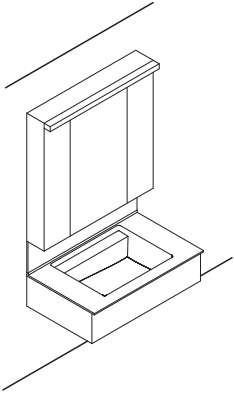
周辺キャビネット併設設置の場合

A-1

A-2

A-3

A-4



B. 両側壁の場合

単独設置の場合

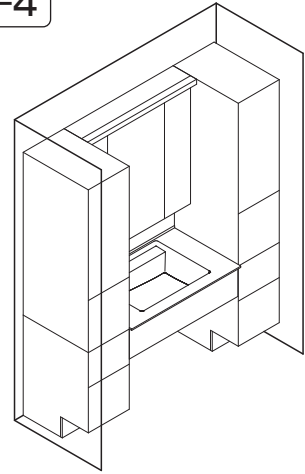
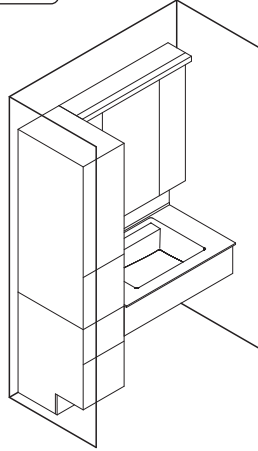
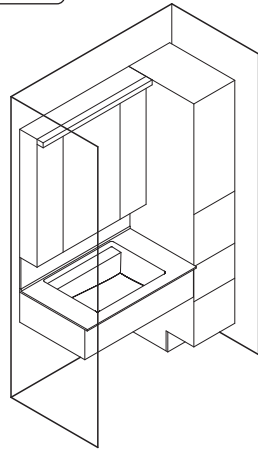
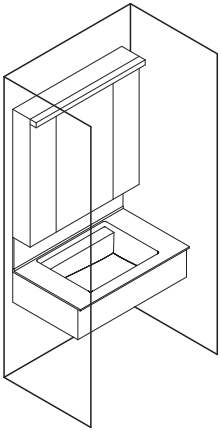
周辺キャビネット併設設置の場合

B-1

B-2

B-3

B-4



C. 片側壁の場合

単独設置の場合

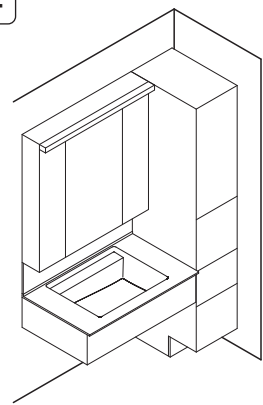
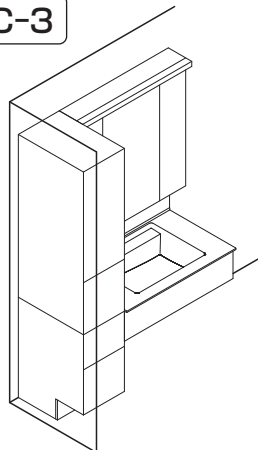
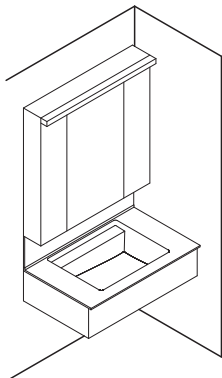
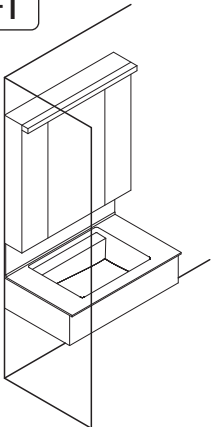
周辺キャビネット併設設置の場合

C-1

C-2

C-3

C-4

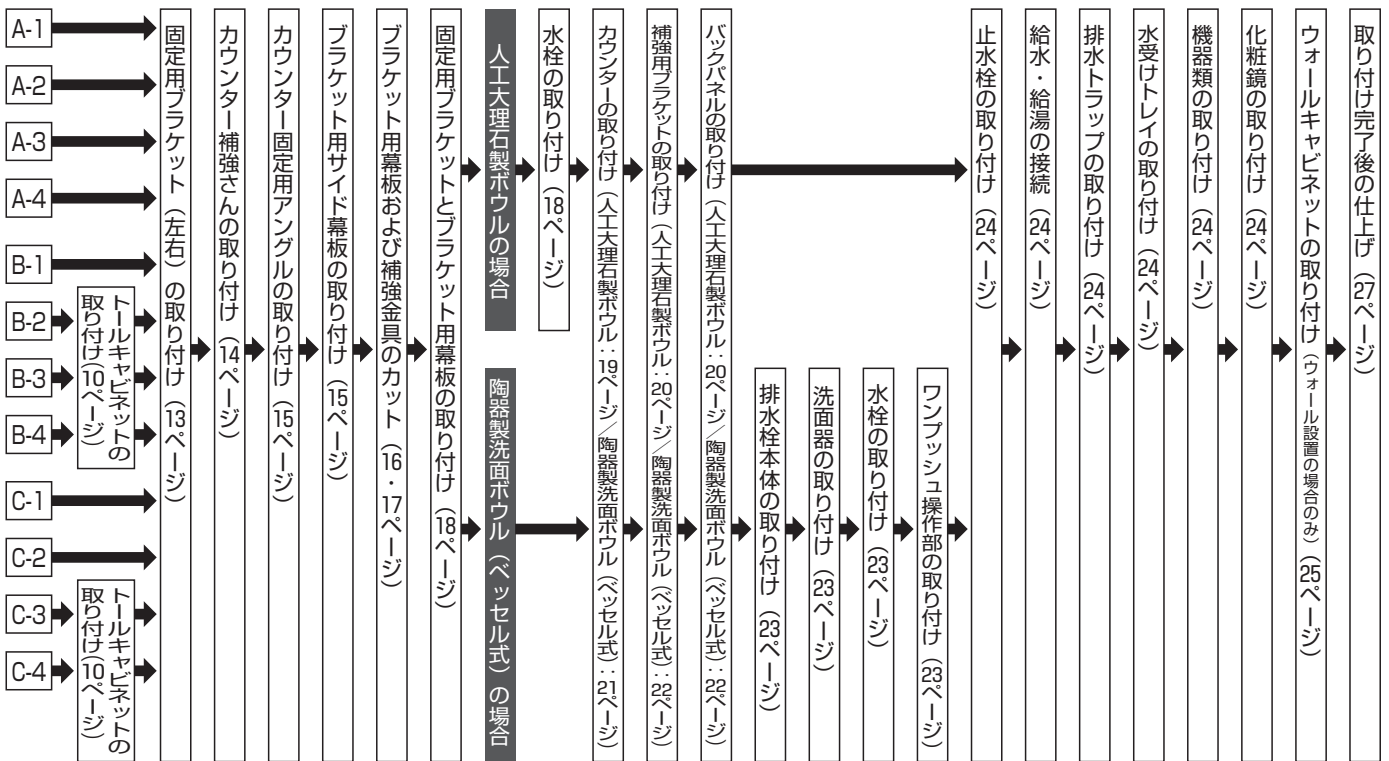


1

取り付けの前に

7) 取り付け手順

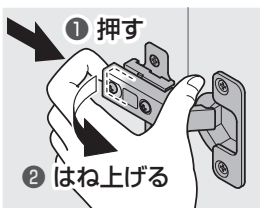
※キャビネットはひきずらないでください。
 ※各レイアウトにより取り付け順序が異なりますので、下記手順で取り付けてください。



2. トールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

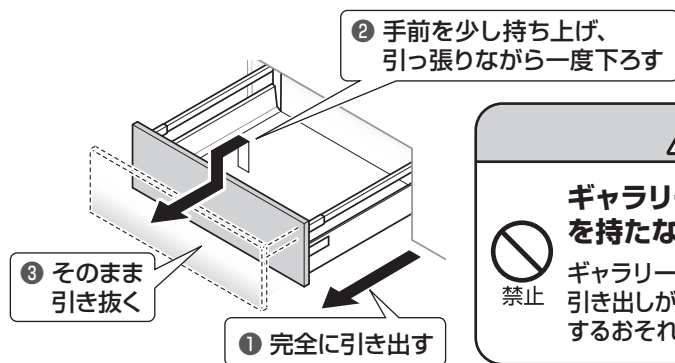
- 扉・引き出しを取り外してください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。

1 開き扉



※扉・引き出しを取り外したあとはダンボールなど敷き、置いてください。

2 引き出し



注意

✗ **ギャラリバー部分を持たない**
 ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

✗ **禁止**

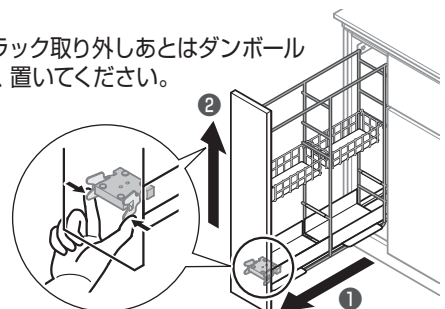
ギャラリバー

3 スライドラックタイプ

無理に外さないでください。(作動不良や破損の原因)

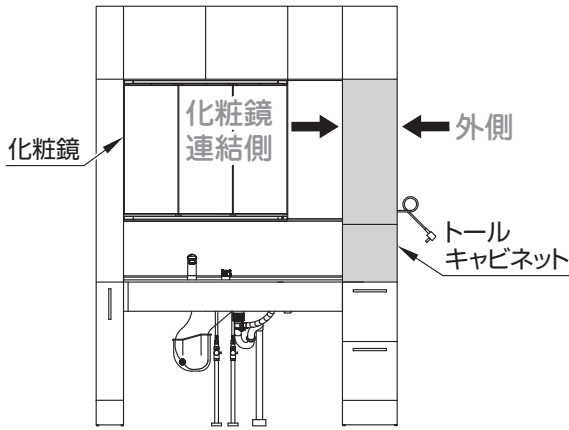
- 1 引き出しを完全に引き出す
 - 2 レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる
- 内側のトレイを外し、外側からレバーを操作することもできます。

※スライドラック取り外しあとはダンボールなど敷き、置いてください。

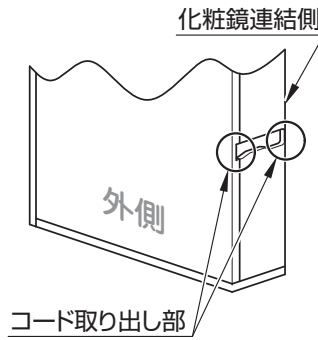


4 電源コードの取り出し

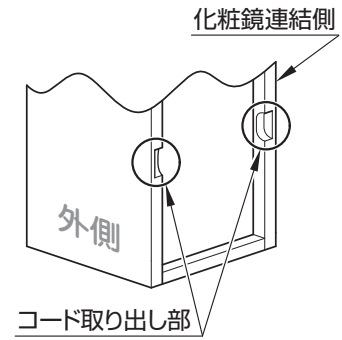
- トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、トールキャビネットの裏面を化粧鏡のコード取り出し位置に合わせて
⊖ドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。



【150サイズの場合】

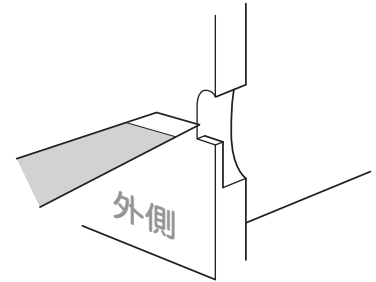
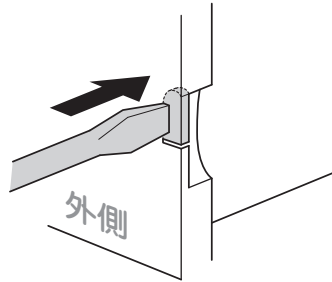
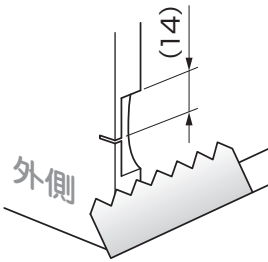


【250~450サイズの場合】



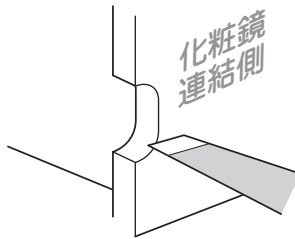
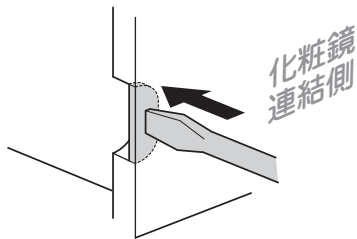
〈外側〉

- ① 切り欠き部に合わせ、のこぎりで切り込みをいれる
※外側は電源コードに合わせて切り欠いてください。
- ② 切り欠き部の上側を⊖ドライバーで化粧板側(外側)から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。
- ③ 突き破った部分をナイフで仕上げる



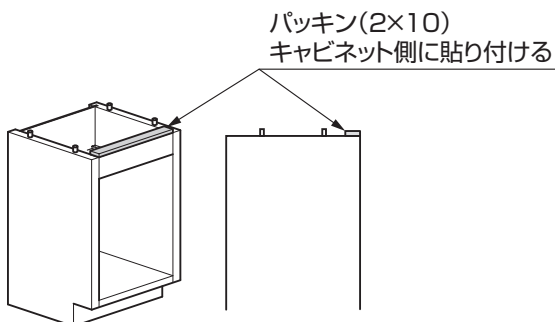
〈化粧鏡連結側〉

- ① 切り欠き部を⊖ドライバーで化粧板側(化粧鏡連結側)から突き破る
※内側から突くと化粧板が欠けます。
- ② 突き破った部分をナイフで仕上げる



5 パッキンの取り付け

- 250・300・450間口のみドルとフロアの間に取り付けてください。



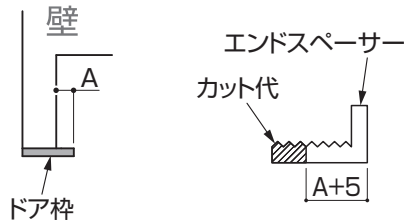
⑥ エンドスペーサー取り付け(別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。
(トールキャビネット用エンドスペーサー・・・LEHA040GTT*G(ホワイト) / LEHA040GTT*D(グレー))

- (1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。
※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大40mm対応可能です。

【ドア枠がある場合】

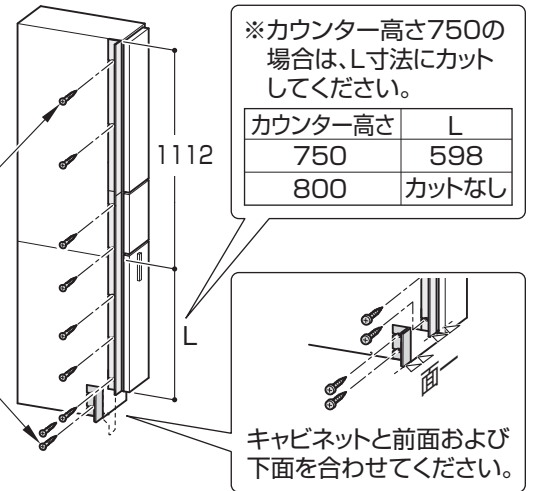
- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



〈L寸法〉

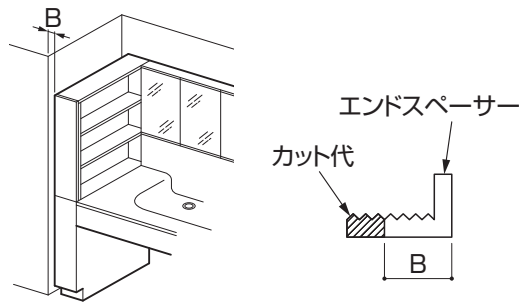
取付ねじ(7本)
($\phi 3.5 \times 13$)
※エンドスペーサーに
付属されています。

取付ねじ(2本)
($\phi 3.5 \times 13$)
※エンドスペーサーに
付属されています。



【すき間がある場合】

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがく。
- (3) けがき位置に下穴($\phi 2.5 \times$ 深さ5)を開ける。
※下穴を貫通させないこと。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじ($\phi 3.5 \times 13$)を取り付ける。
※その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじの高さを調節してください。
- (5) 一旦、エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、前から差し込んでください。

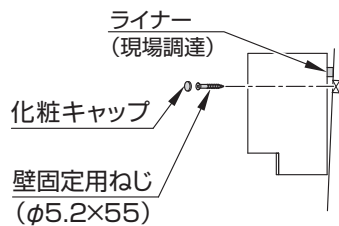
2

トールキャビネットの
取り付け

⑦ フロアキャビネットの取り付け

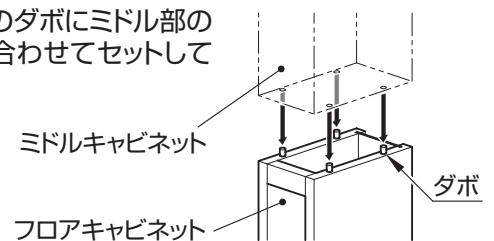
- フロア部を付属の壁固定用ねじ($\phi 5.2 \times 55$)で固定してください。

※壁不陸がある場合、
ライナー(現場調達)
を入れて垂直に固定
してください。



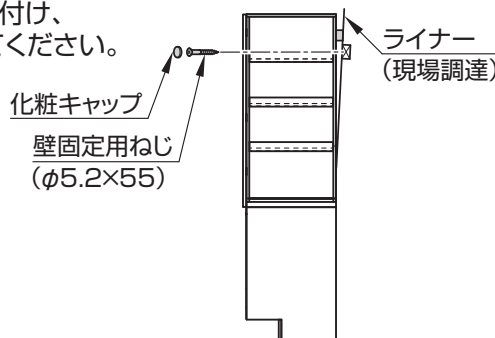
⑧ ミドルキャビネットの連結

- フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせてセットしてください。



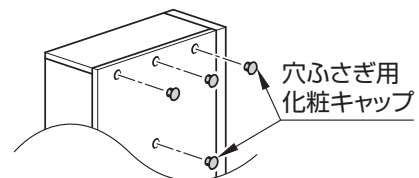
⑨ ミドルキャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ($\phi 5.2 \times 55$)で固定してください。
※壁不陸がある場合、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。
- 棚ダボを取り付け、棚板をのせてください。



【間口150サイズの場合のみ】

- 壁およびキャビネットが隣接しない場合は、付属の穴ふさぎ用化粧キャップ(4個)を取り付けてください。

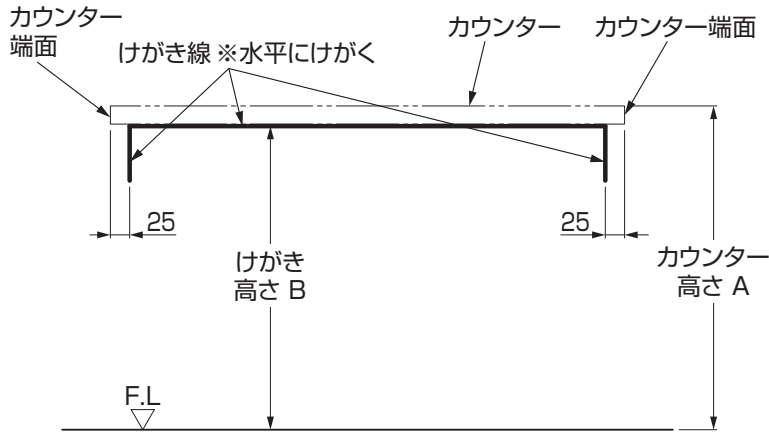


3. カウンター部取り付け手順

人工大理石製ボウル／陶器製洗面ボウル(ベッセル式)共通

1) 固定用ブラケット(左右)の取り付け

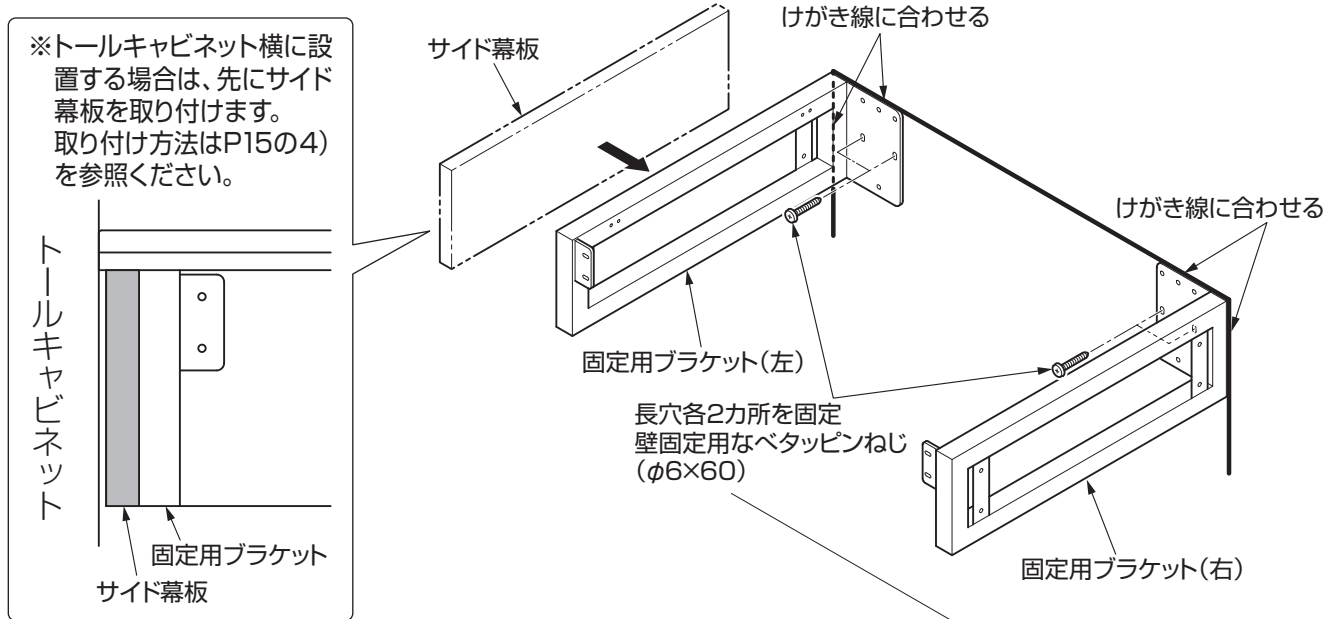
① カウンター間口寸法を確認し、ブラケットの取り付け位置をけがく



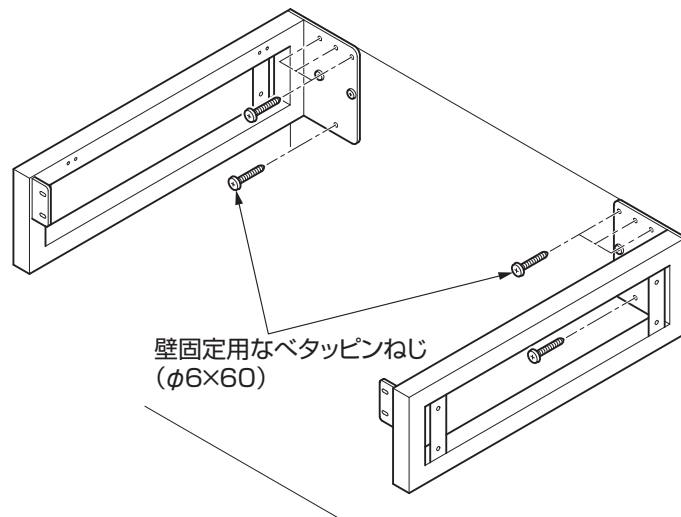
カウンター高さ A	750	800
けがき高さ B	738	788

② ブラケットを固定する

※①のけがき位置に合わせて長穴部(各2カ所)で調整しながら、左右のブラケットを固定してください。



③ 左右ブラケットを本固定する



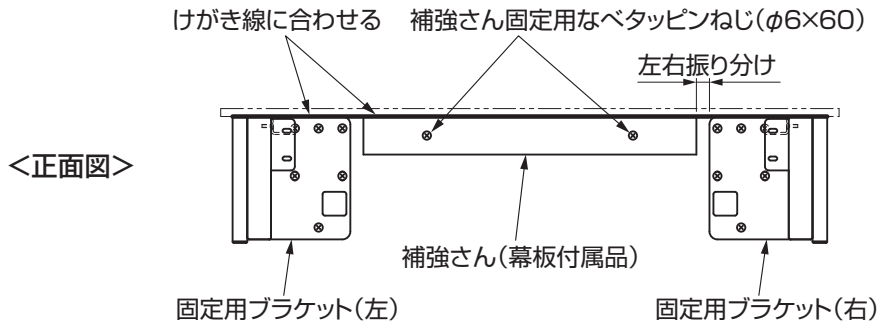
3
カウンター部
取り付け手順

2) カウンター補強さんの取り付け

カウンター間口1201mm以上の場合はカウンター補強用ブラケットを取り付ける必要があります。カウンター裏面に取り付け板があるので、寸法を測り、それを避けた位置に補強さんを取り付けてください。

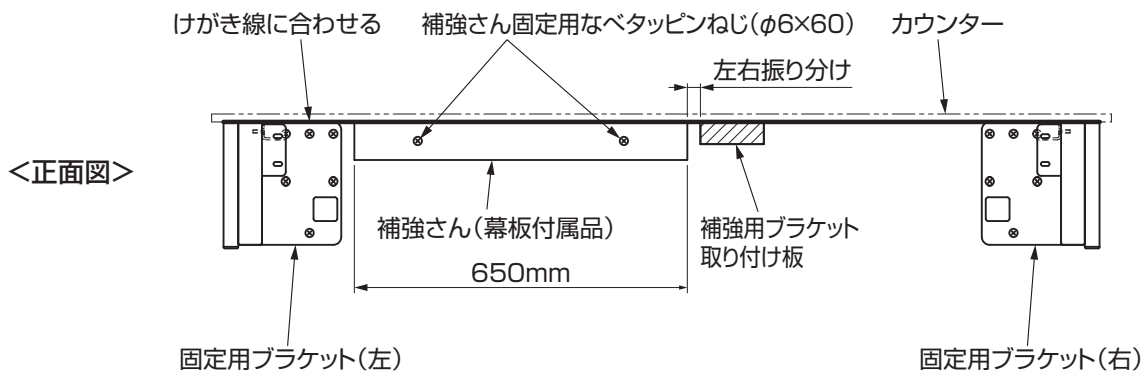
【カウンター間口750mm～1200mmの場合】

- 左右の固定用ブラケット間に補強さんを取り付けてください。



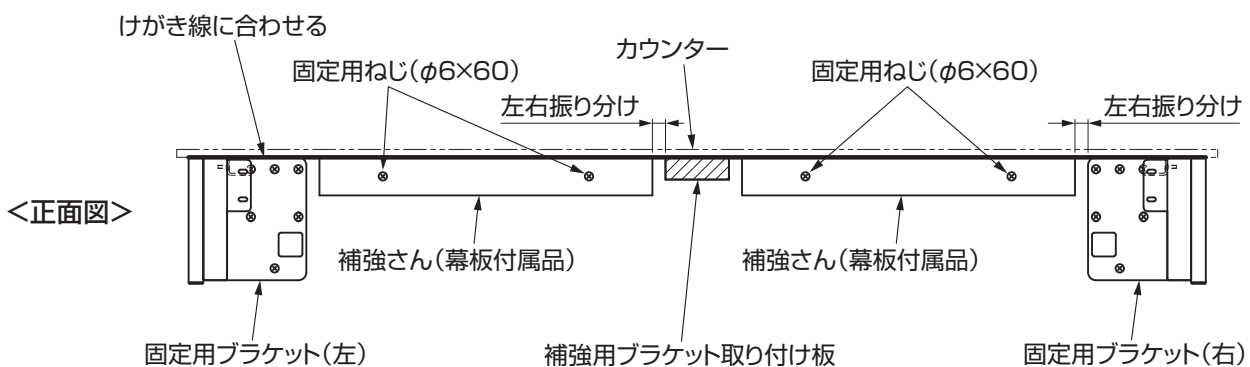
【カウンター間口1201mm～1450mmの場合】

- 固定用ブラケットと補強用ブラケットとの間に補強さんを取り付けてください。
 ※補強さんは洗面器の取り付け側へは必ず取り付けること。
 ※洗面ボウルの位置によって、補強さんが入らない場合があります。その際は、補強さんの両側をカットし取り付けてください。



【カウンター間口1451mm～1850mmの場合】

- 固定用ブラケットと補強用ブラケットとの間に補強さんを2本、取り付けてください。
 ※洗面ボウルの位置によって、補強さんが入らない場合があります。その際は、補強さんの両側をカットし取り付けてください。
 ※片寄せプランの場合は、洗面ボウル設置側に幅650mmの補強さんを取り付けてください。



警告

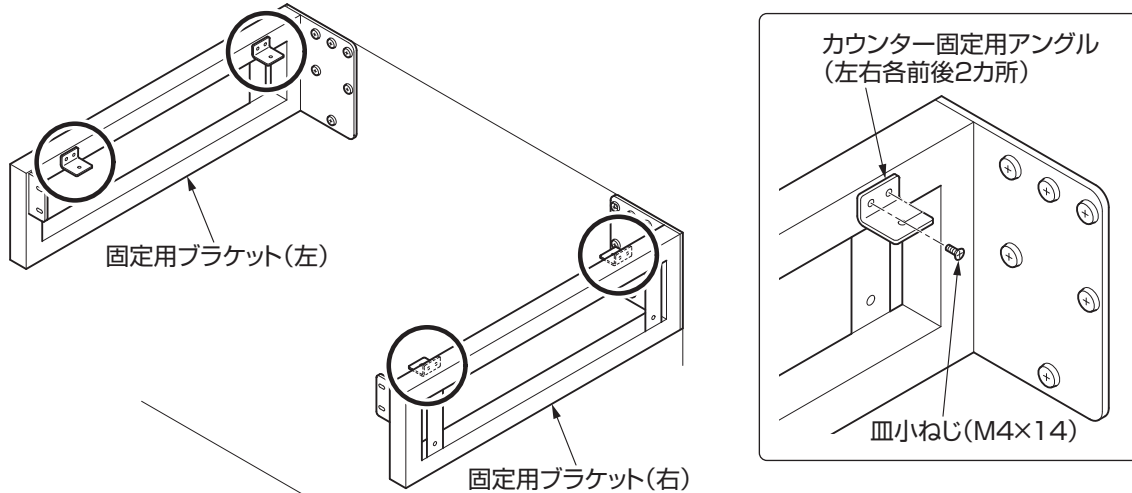


必ず実行

すべての固定ねじが確実に固定されていることを確認する
商品が落下し、けがをするおそれがあります。

3) カウンター固定用アングルの取り付け

- 皿小ねじ(M4×16)各2本でカウンター固定用アングルを固定用ブラケット(左・右)に固定してください。



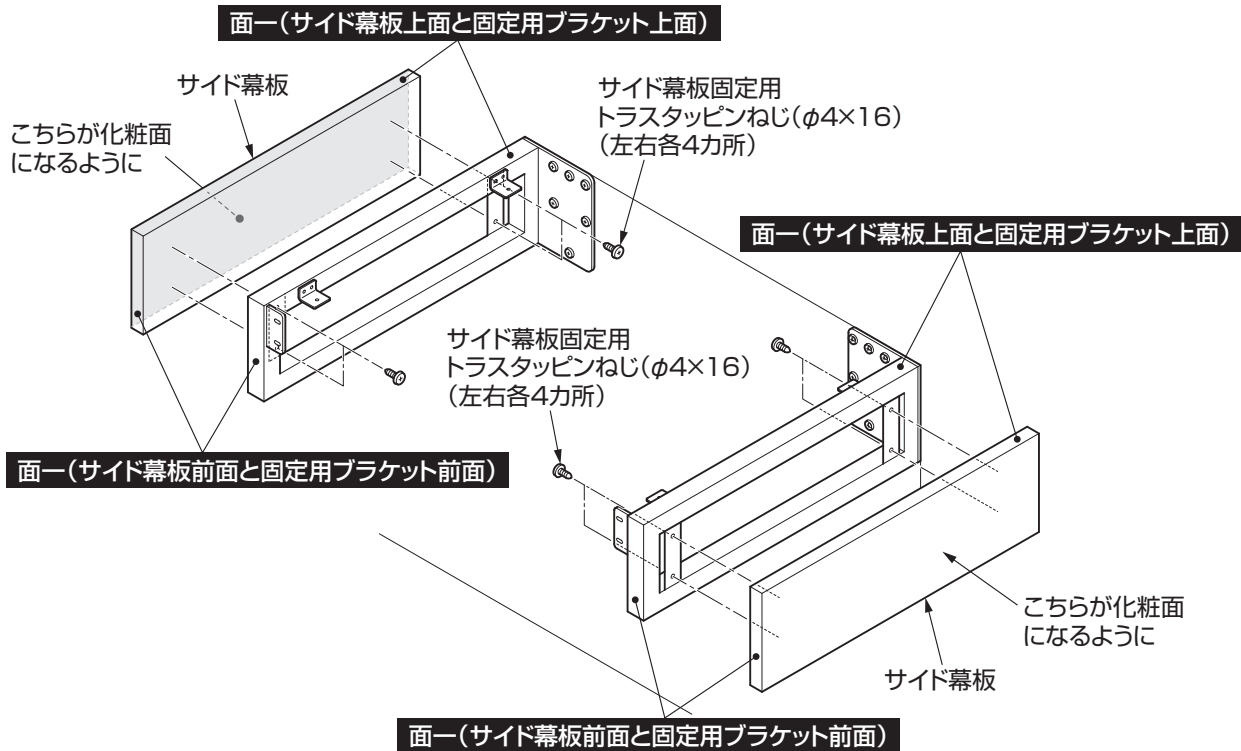
⚠ 注意

⊘ 電動ドライバーを使用しない
ねじが破損する原因になります。

禁止

4) ブラケット用サイド幕板の取り付け

- 両サイドおよび片側がオープン仕様の場合、サイド幕板を固定用ブラケットの外側に取り付けてください。
※化粧されていない面が上になるように、取り付けてください。(塗装仕様を除く面材)



3
取
り
付
け
手
順

⚠ 警告

⚠ 必ず実行 全ての固定ねじが確実に固定されていることを確認する
商品が落下し、けがをするおそれがあります。

5) ブラケット用幕板および補強金具のカット(右側)

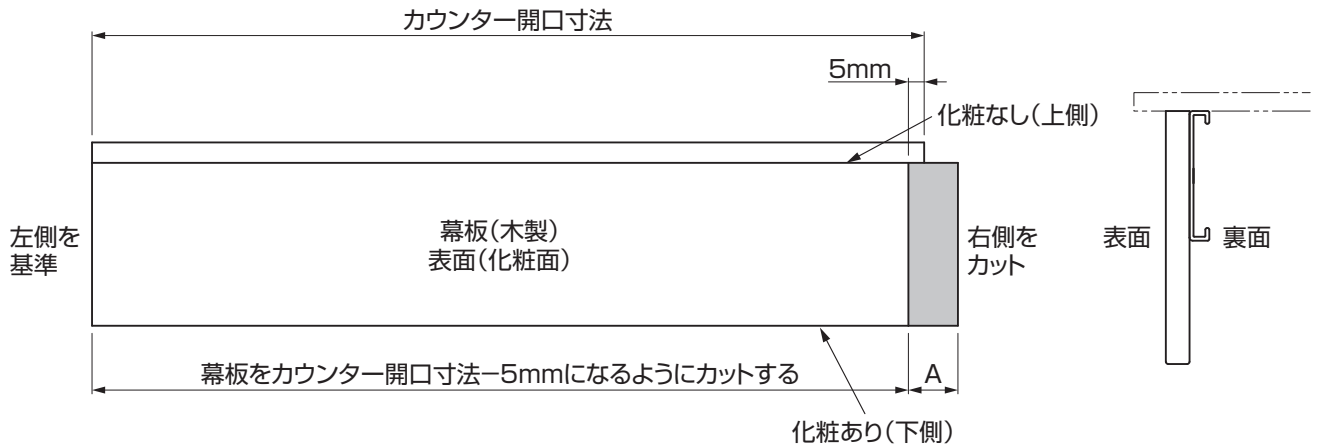
※定寸間口(注)での設置の場合は幕板のカットは不要です。定寸間口以外での設置の場合に幕板のカットが必要となります。
注)定寸間口:750~1850までの50mmピッチのとき

幕板、補強金具の右側をカットするレイアウトプラン

B-1、B-3、C-2(P.9)

① 幕板のカット

建築壁が両壁側の場合、カウンター間口寸法に対し-5mmになるようにカットしてください。

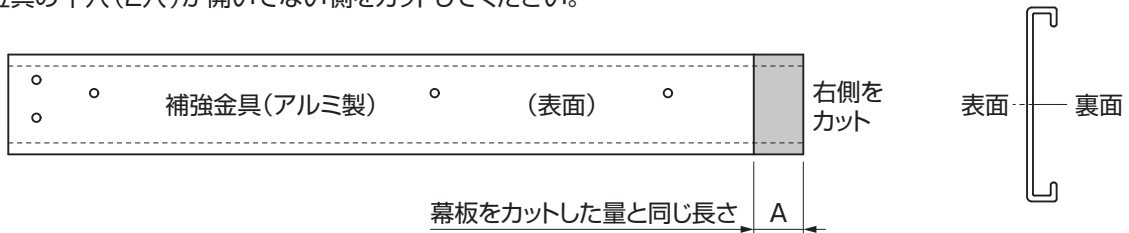


② 補強金具のカット

カットした面は「ヤスリ」などでバリ処理してください。

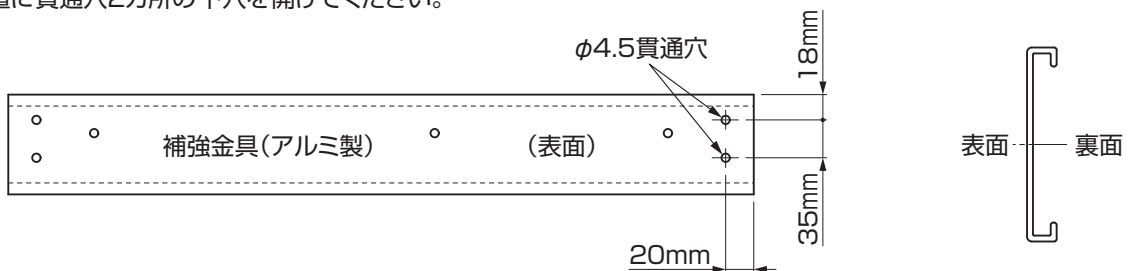
※①で幕板カットした場合は、補強金具もカットしてください。

※補強金具の下穴(2穴)が開いてない側をカットしてください。



③ 補強金具固定用の穴あけ

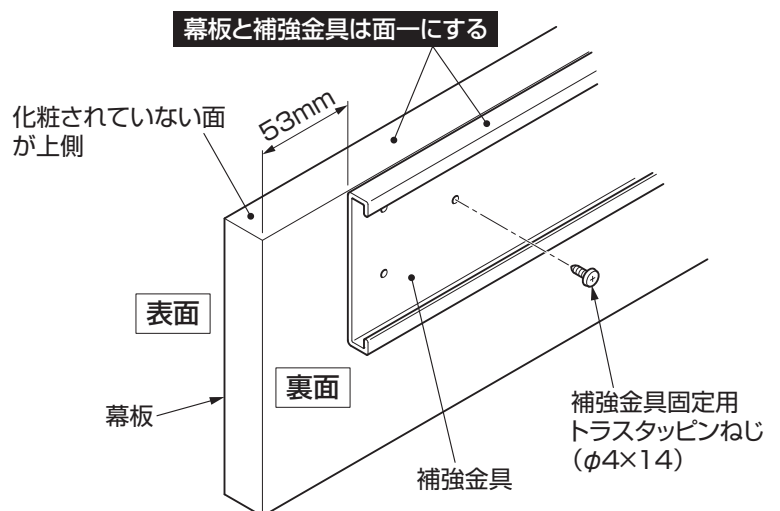
下図位置に貫通穴2カ所の下穴を開けてください。



④ 幕板と補強金具固定

幕板の上面と補強金具上面を面一にしてねじ固定してください。

※化粧されていない面が上になるように、取り付けてください。



3

取カ
りウ
ンタ
ー部
手
順

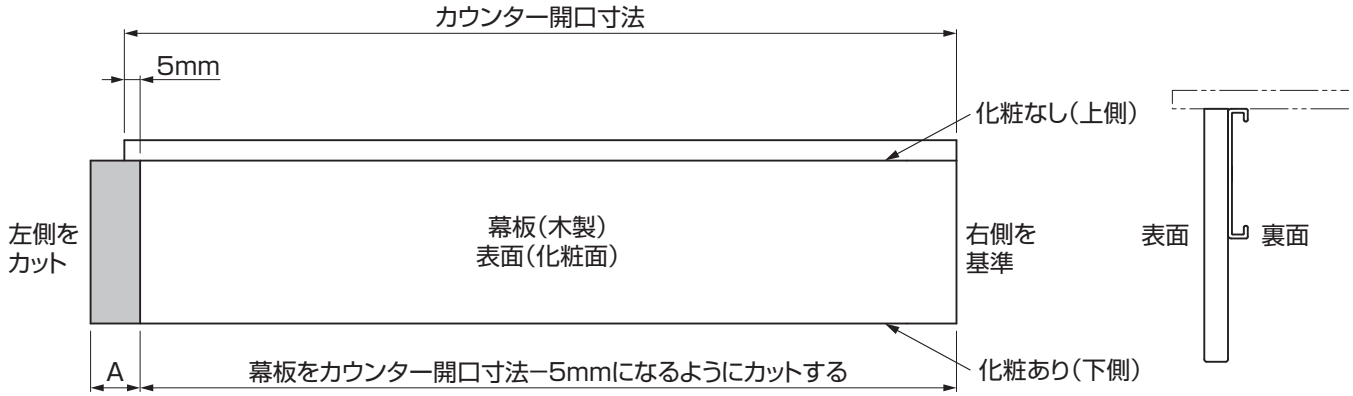
5) ブラケット用幕板および補強金具のカット(左側)

幕板、補強金具の左側をカットするレイアウトプラン

B-2、C-1 (P.9)

① 幕板のカット

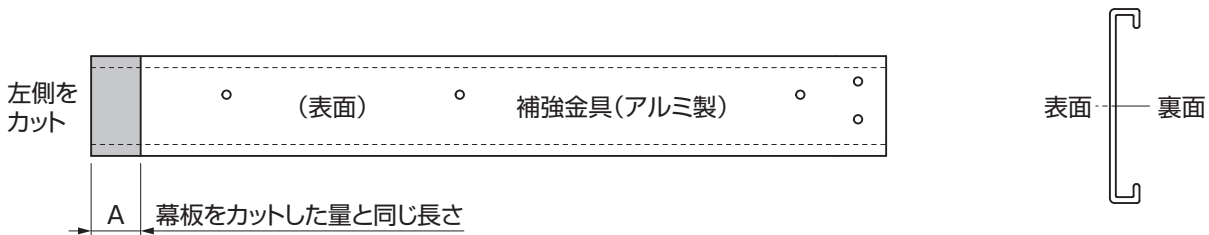
建築壁が左側壁の場合、カウンター間口寸法に対し5mmになるようにカットしてください。



② 補強金具のカット

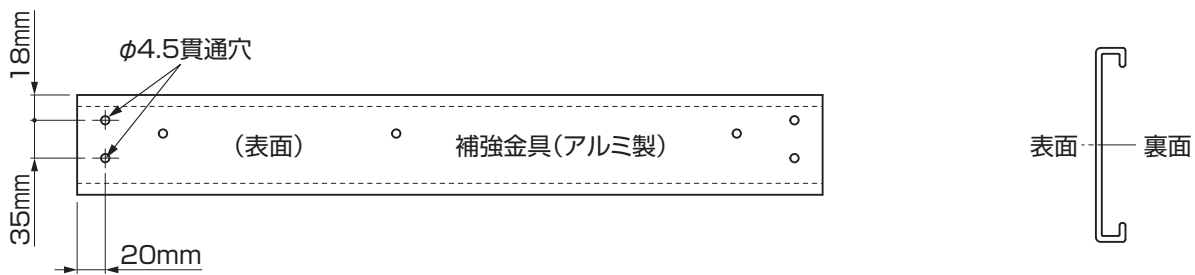
カットした面は「ヤスリ」などでバリ処理してください。

※①で幕板カットした場合は、補強金具もカットしてください。



③ 補強金具固定用の穴あけ

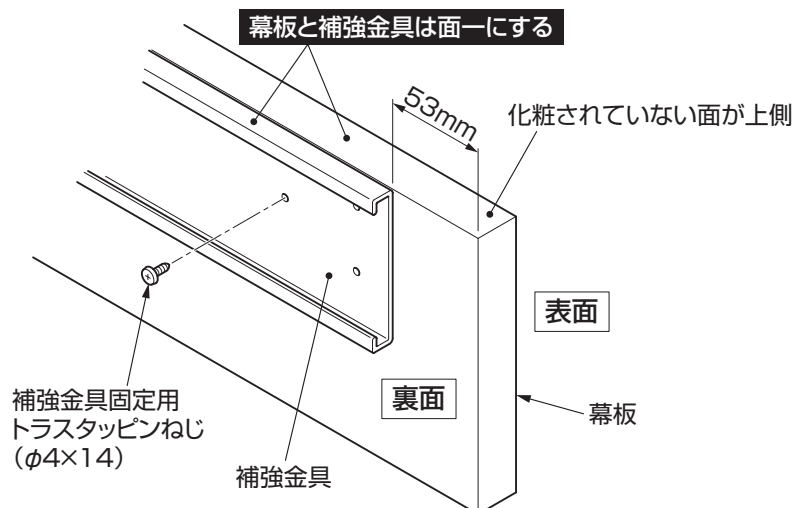
下図位置に貫通穴4カ所の下穴を開けてください。



④ 幕板と補強金具固定

幕板の上面と補強金具上面を面一にしてねじ固定してください。

※化粧されていない面が上になるように、取り付けてください。



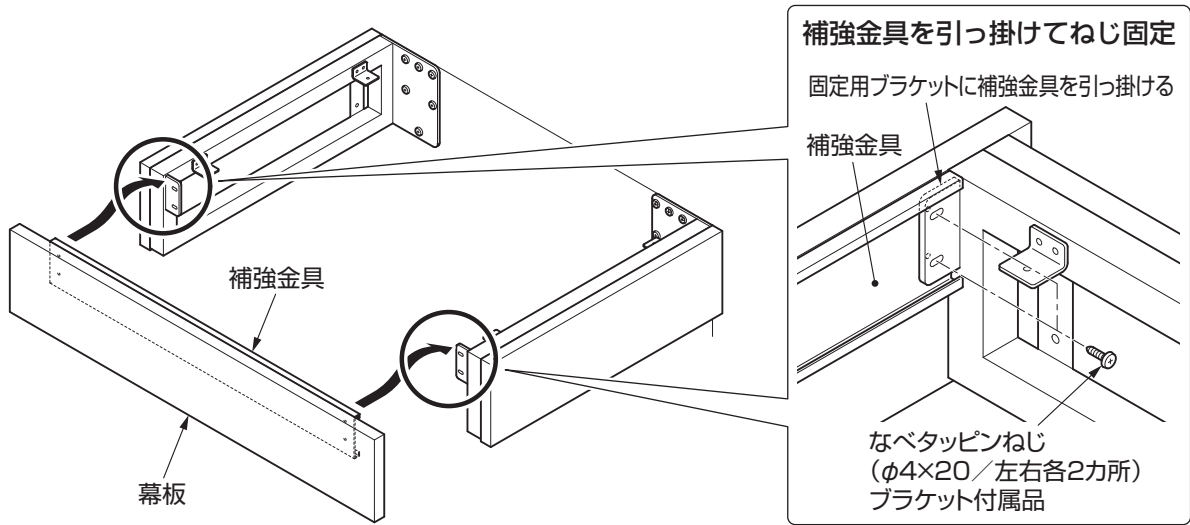
3

カウンター部
取り付け手順

6) 固定用ブラケットとブラケット用幕板の取り付け

幕板と固定用ブラケットの固定

補強金具を固定用ブラケットに引っ掛けてねじ固定してください。(φ4×20)



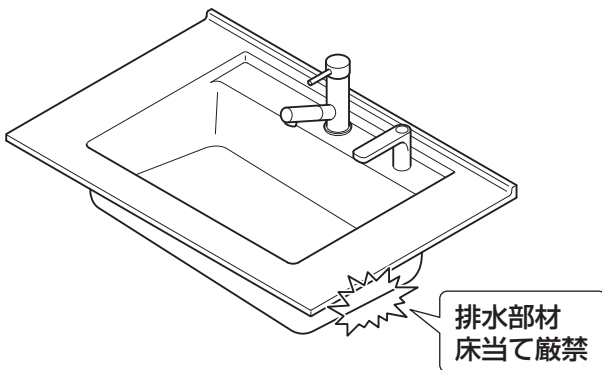
人工大理石製ボウルの場合

陶器製洗面ボウル (ベッセル式) の場合 → P.21へ

7) 水栓の取り付け

- 専用工具がない場合、水栓は必ずカウンターをキャビネットに設置する前に先付けしてください。
- 専用工具がある場合、後付け可能です。

- ① カウンターに傷がつかないように、養生する
- ② 排水部材に荷重をかけない状態で、水栓を工具で確実に取り付ける
※取り付けについては水栓金具・機器類付属の施工説明書をご参照ください。



⚠ 注意



禁止

洗面ボウル裏面の排水部材に荷重や衝撃を与えない

排水部材が破損し、水漏れする原因になります。



必ず実行

水栓金具の取付は、工具で確実に取り付ける

取り付け部がゆるむと水漏れする原因になります。

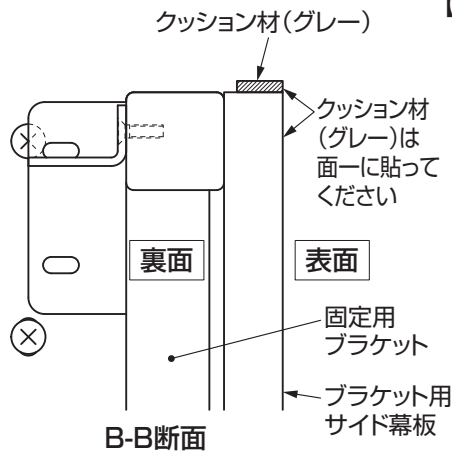
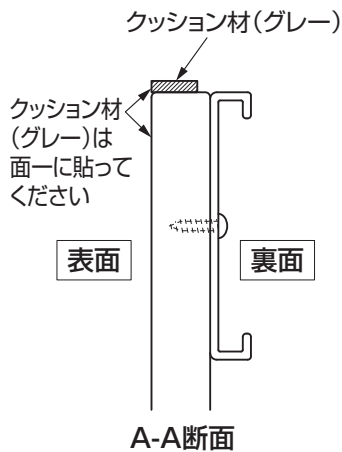
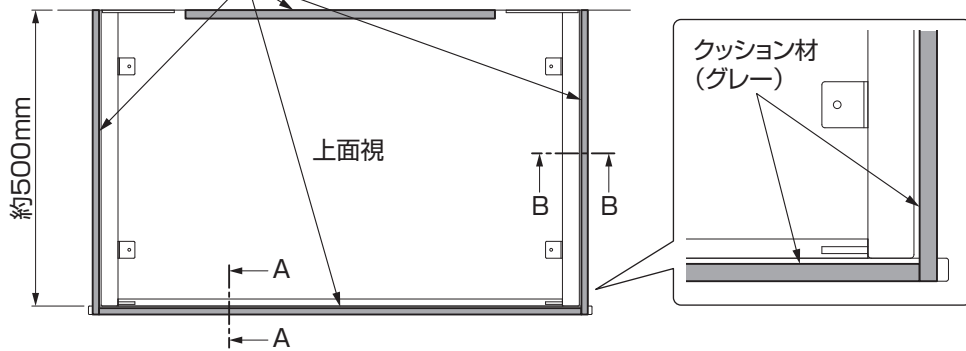
3

取カ
りウ
ンタ
ー部
手
順

8) カウンターの取り付け

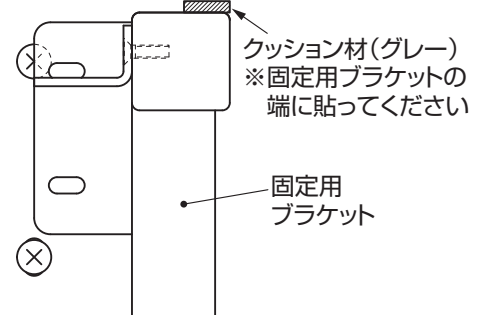
① クッション材(グレー)を取り付ける

クッション材(グレー)取り付け(4カ所)



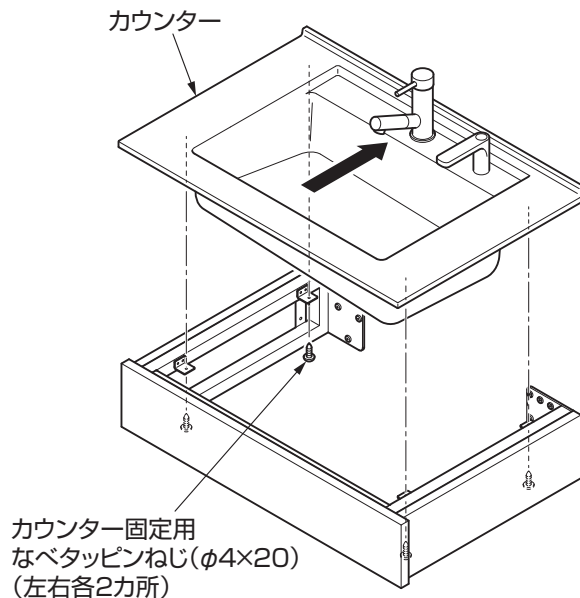
【ブラケット用サイド幕板の設置がない場合】

- ブラケット用サイド幕板の設置がない場合はクッション材(グレー)を固定用ブラケットに貼り付けてください。



② カウンターの固定

※カウンターをのせ位置決め後、カウンター下側からアングル部をねじ固定してください。



9) 補強用ブラケットの取り付け 【カウンター間口1201mm以上の場合】

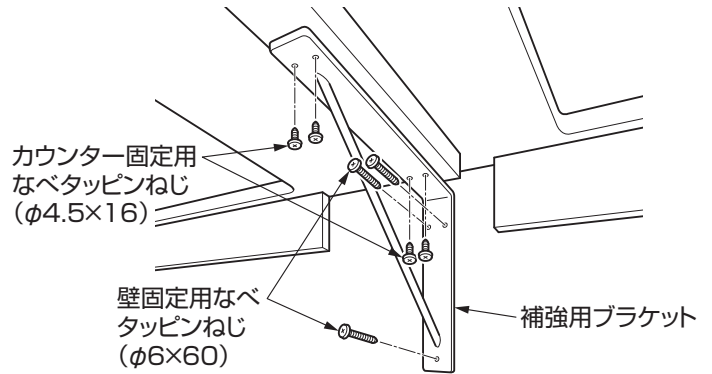
- カウンター裏面の木さん位置に補強用ブラケットを壁固定用ねじ3本で固定し、カウンター固定用ねじ4本でカウンターと連結する。

警告



すべての固定ねじが確実に固定されていることを確認する

必ず実行 商品が落下し、けがをすることがあります。

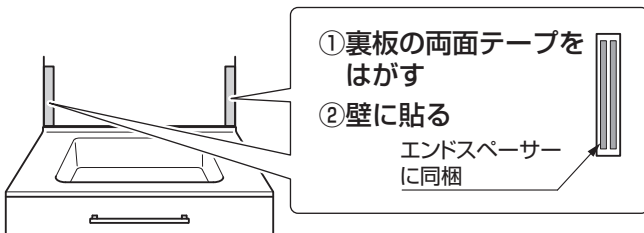


10) バックパネルの取り付け

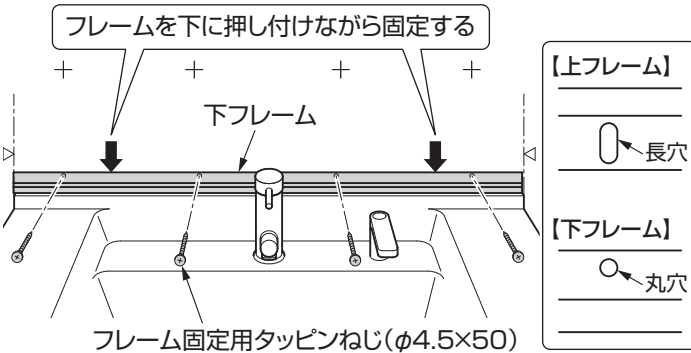
※バックパネルの隣にサイドキャビネットが設置される場合は、先にサイドキャビネットを取り付けてから、バックパネルを取り付けてください。

1) スペースの取り付け

- レイアウトにより、スペースが必要な場合は、スペースを壁のコーナーへ貼り付けてください。(カットは不要)

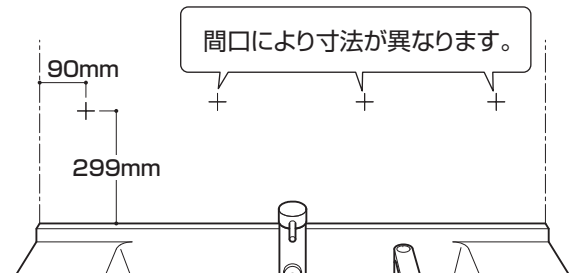


- ### 3) 下フレームをカウンターの立ち上がりに合わせて、片側の端から順番にフレーム固定用ねじで固定する
- ※間口により本数が異なります。

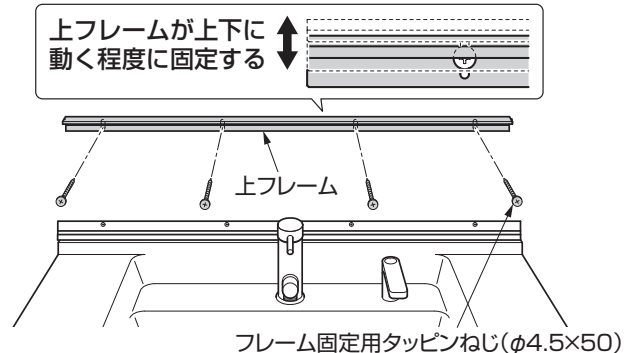


2) 取り付け位置をけがく

- 上フレームを配置して位置をけがいでください。
- けがいた取り付け位置に下穴(φ3)をあけてください。

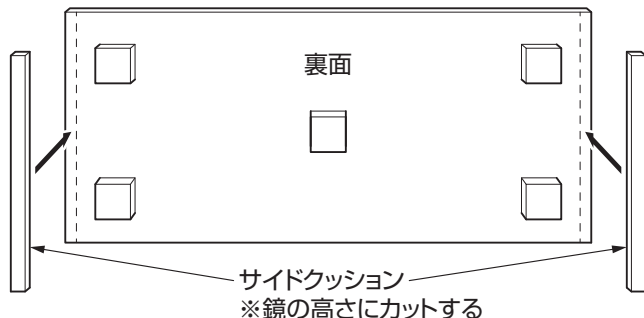


- ### 4) 上フレームをけがきに合わせて、外側からフレーム固定用ねじで固定する
- ※間口により本数が異なります。



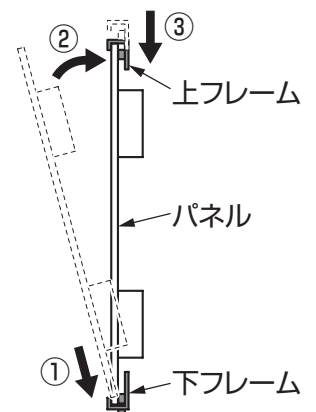
5) 鏡裏面にサイドクッションを貼り付ける

- ① クッションを鏡の高さにあわせてカットする
- ② クッションを鏡の端に面一に貼り付ける



6) バックパネルを取り付ける

- ① パネルを下フレームに差し込む
- ② パネルを壁側に起こす
- ③ 上フレームを下に下げてパネルに差し込む



7) 取り付け後の確認

- 鏡とフレーム手前のすき間が大きい場合は、壁とフレームの間にライナー(現場調達)を入れて調整してください。

P.24「15) 止水栓の取り付け」へ進む

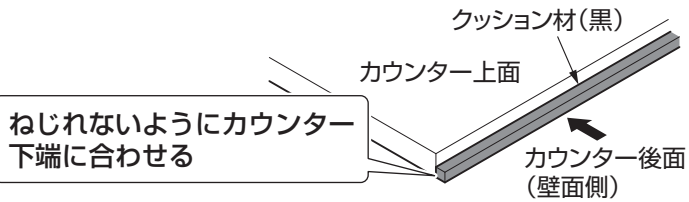
3

カウンター部
取り付け手順

8) カウンターの取り付け

① クッション材(黒)を貼り付ける

- カウンター付属のクッション材(黒)をカウンター後面に下端合わせで貼り付けてください。

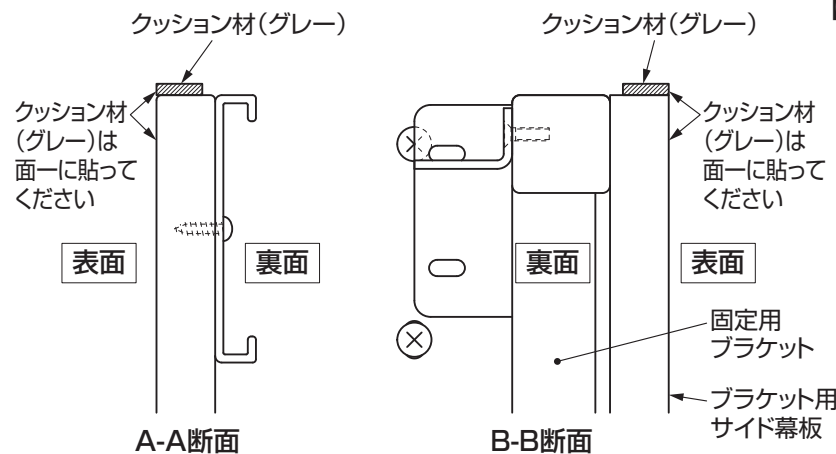
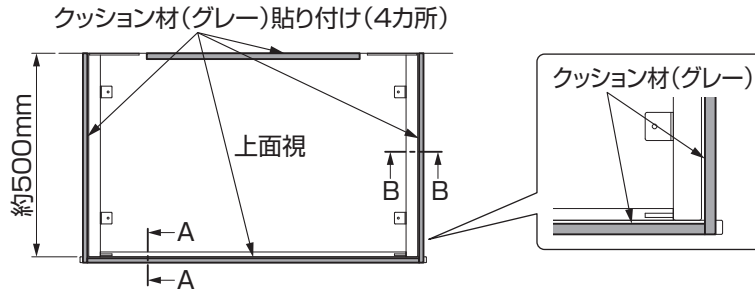


重要

クッション材は必ず取り付ける

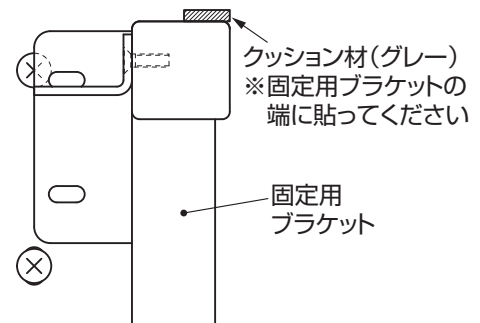
万一のシリコン切れの場合にカウンターから水がしみ込み、躯体が被水することを防ぐためです。

② クッション材(グレー)を貼り付ける



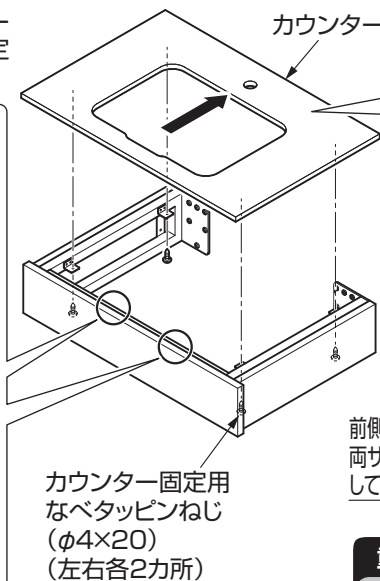
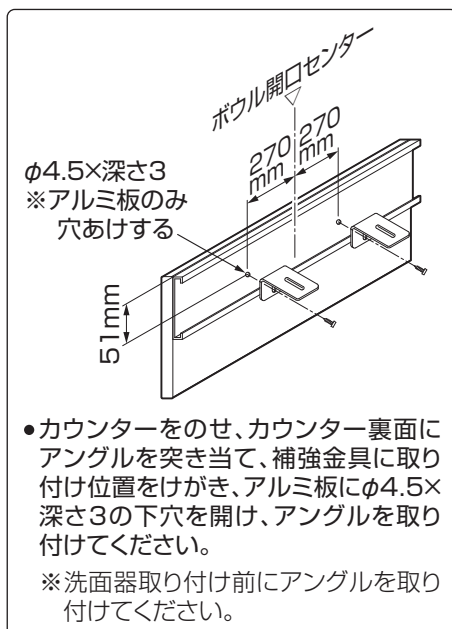
【ブラケット用サイド幕板の設置がない場合】

- ブラケット用サイド幕板の設置がない場合はクッション材(グレー)を固定用ブラケットに貼り付けてください。

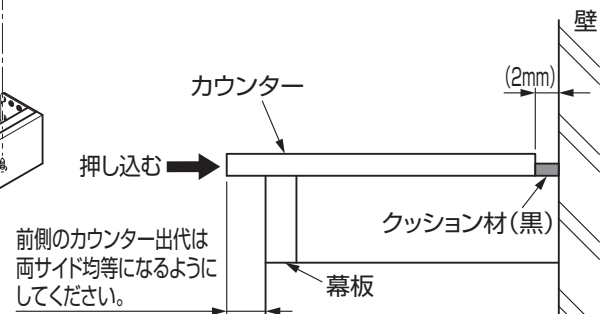


③ カウンターの固定

- ※カウンターをのせ位置決め後、カウンター下側からアングル部を固定用ねじで固定する。(φ4×20)



陶器製洗面ボウル(ベッセル式)の場合、後ろクッション材が壁に密着するようにカウンターを十分壁側に押し付けること。



重要

ベッセル洗面器仕様でバックパネルを取り付ける場合はバックパネル取り付け後、洗面器を取り付ける

9) 補強用ブラケットの取り付け 【カウンター間口1201mm以上の場合】

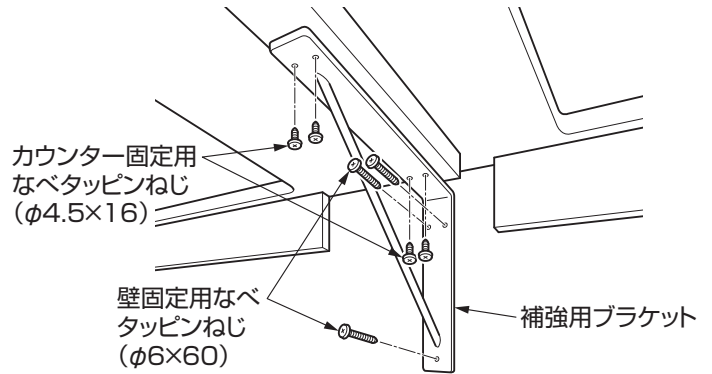
- カウンター裏面の木さん位置に補強用ブラケットを壁固定用ねじ3本で固定し、カウンター固定用ねじ4本でカウンターと連結してください。

警告



すべての固定ねじが確実に固定されていることを確認する

必ず実行 商品が落下し、けがをすることがあります。

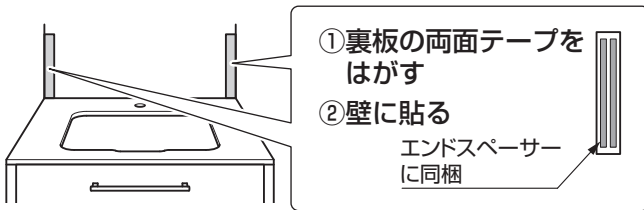


10) バックパネルの取り付け

※バックパネルの隣にサイドキャビネットが設置される場合は、先にサイドキャビネットを取り付けてから、バックパネルを取り付けてください。

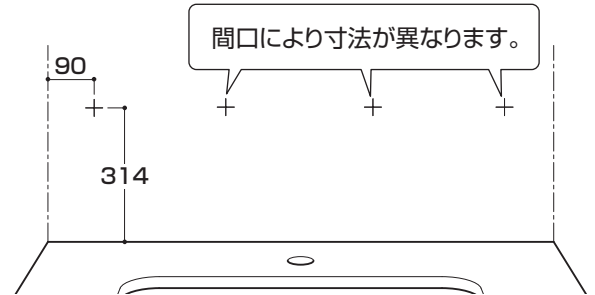
1) スペースの取り付け

- レイアウトにより、スペースが必要な場合は、スペースを壁のコーナーへ貼り付けてください。(カットは不要)

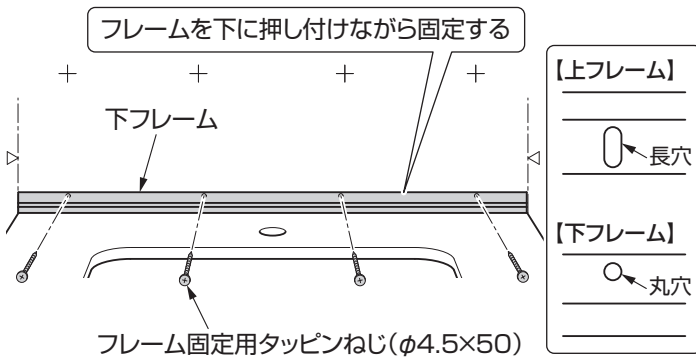


2) 取り付け位置をけがく

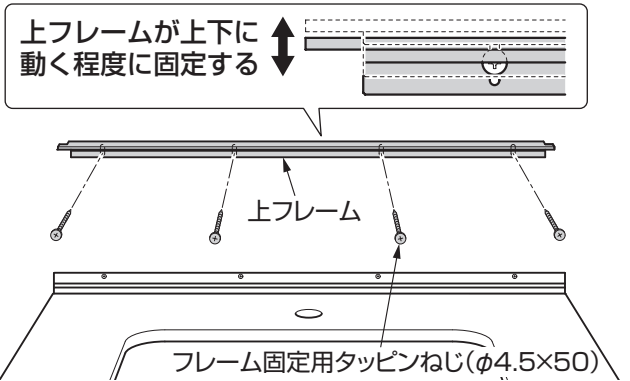
- 上フレームを配置して位置をけがいてください。
- けがいた取り付け位置に下穴(φ3)をあけてください。



- ### 3) 下フレームをカウンターの立ち上がりに合わせて、片側の端から順番にフレーム固定用ねじで固定する
- ※間口により本数が異なります。

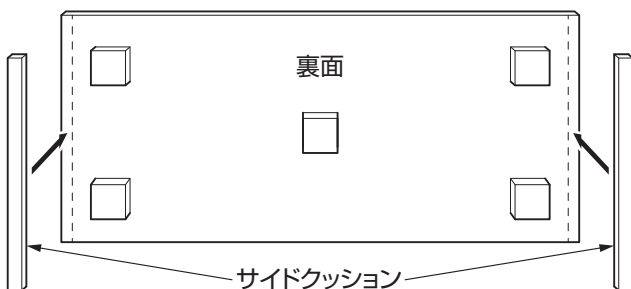


- ### 4) 上フレームをけがきにに合わせて、外側からフレーム固定用ねじで固定する
- ※間口により本数が異なります。



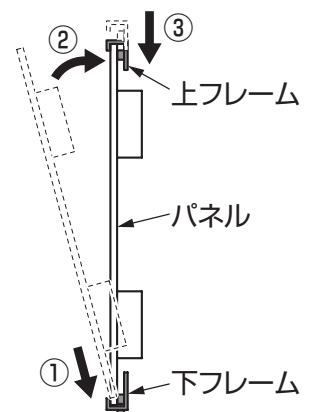
5) 鏡裏面にサイドクッションを貼り付ける

- #### ① クッションを鏡の端に面に貼り付ける



6) バックパネルを取り付ける

- ① パネルを下フレームに差し込む
- ② パネルを壁側に起こす
- ③ 上フレームを下に下げてパネルに差し込む



7) 取り付け後の確認

- 鏡とフレーム手前のすき間が大きい場合は、壁とフレームの間にライナー(現場調達)を入れて調整してください。

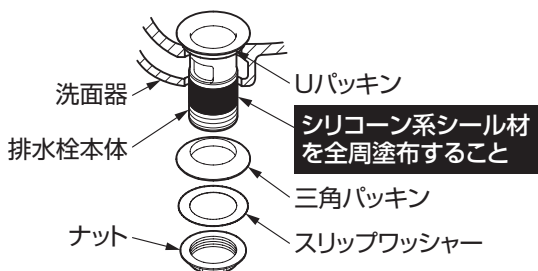
3

取
り
付
け
手
順
部

1 1) 排水栓本体の取り付け

※ TA 洗面器の場合は、TA 洗面器に付属の施工説明書をご参照ください。

- ① シリコン系シーリング材を排水栓本体のねじ部全周に塗布する
- ② 三角パッキン、スリップワッシャー、ナットの順に締め付ける



⚠ 注意



必ず実行

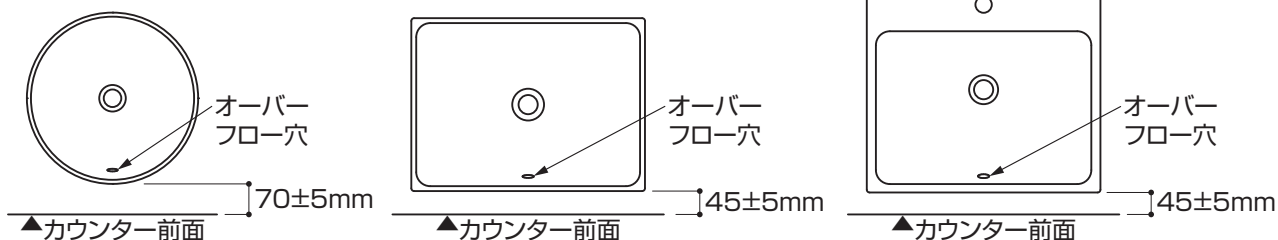
- **三角パッキン**の方向に注意して取り付ける
水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。
- ナットは**三角パッキンの弾性を失わない程度に締め付ける**
強く締めすぎると、陶器が破損してけがをするおそれがあります。
- 排水栓本体のねじ部全周に、**シリコン系シーリング材を塗布する**
ねじ部から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

1 2) 洗面器の取り付け

※取り付けについては、洗面器付属の施工説明書をご参照ください。

【カウンター前面から洗面器までの寸法】

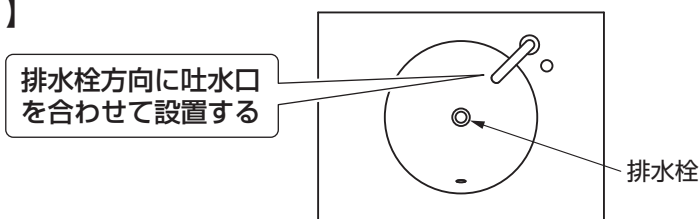
※ TA 洗面器の場合は、TA 洗面器に付属の施工説明書をご参照ください。



1 3) 水栓の取り付け

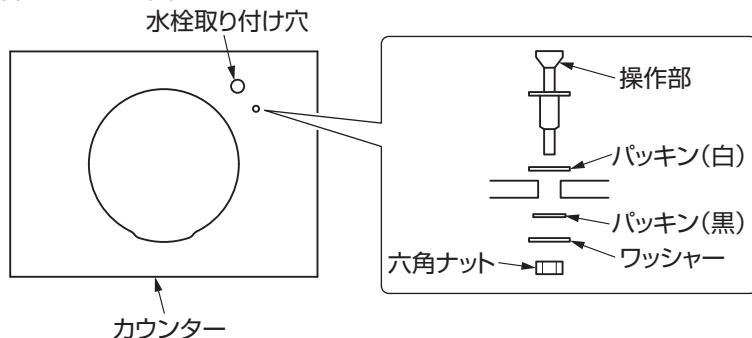
※取り付けについては、水栓金具・機器類付属の施工説明書をご参照ください。

【丸型洗面器の水栓方向】



1 4) ワンプッシュ操作部の取り付け 【アクアオートとの組み合わせの場合のみ】

- 六角ナットを締めて操作部をしっかり固定してください。



P.24「15) 止水栓の取り付け」へ進む

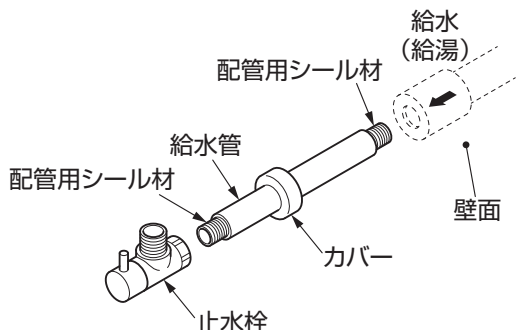
取カ
りウ
ンタ
ー
付
け
手
順

3

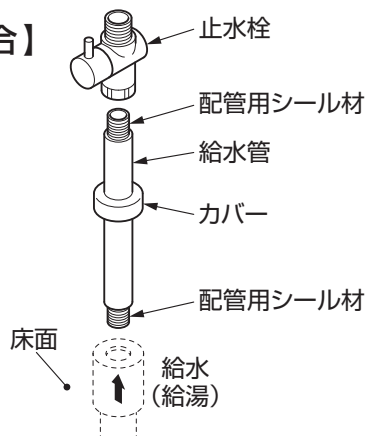
15) 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参照ください。

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



16) 給水・給湯の接続

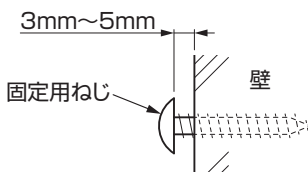
※取り付けについては、水栓金具付属の施工説明書をご参照ください。

17) 排水トラップの取り付け

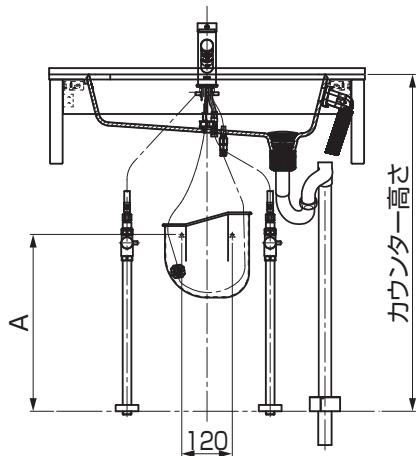
※取り付けについては、排水トラップ付属の組立・設置説明書をご参照ください。

18) 水受けトレイの取り付け 【ホース引き出し式水栓の場合】

- 1 固定用ねじを下図の位置に、壁から3mm～5mmすき間をあけて取り付ける

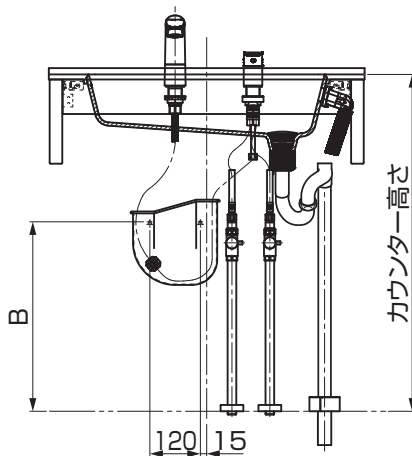


【LHATLC32型
LHATLG12301型の場合】



カウンター高さ	水栓の仕様	A
800	一般地	420
	寒冷地	390
750	一般地	370
	寒冷地	340

【左記品番以外の場合】



カウンター高さ	B
800	450
750	400

- 2 水受けトレイの取り付け穴を固定用ねじに引っ掛ける
- 3 水引き出しホースをトレイに入れ、水栓吐水口部を出し入れてスムーズにホースが出し戻ることを確認する

19) 機器類の取り付け

- 機器類、水栓機能部を取り付けてください。
- ※取り付けについては、水栓・機器類付属の施工説明書をご参照ください。

20) 化粧鏡の取り付け

※取り付けについては、化粧鏡付属の組立・設置説明書をご参照ください。

3

取カ
りカ
ウ
ン
タ
ー
部
手
順

4. ウォール部取り付け手順

① 設置上のご注意 ② 取り付け条件

重要

天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

警告

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。



- 壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の表面の全面に厚み12mm以上のJAS規格の合板を強固に取り付けてください。(建築工事)

- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込む

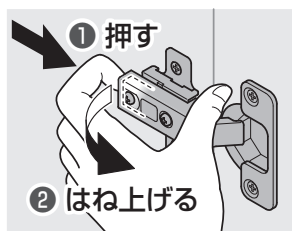
- プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する

※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

- キャビネットを取り付ける壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。

1) 扉の取り外し

- 取り付け完了後、元に戻してください。



※扉を取り外したあとはダンボールなど敷き、置いてください。

2) ウォールキャビネット用エンドスペーサーの取り付け

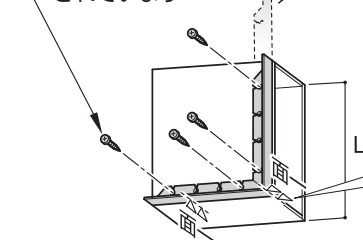
- (1) 設置レイアウトからエンドスペーサーの設置位置を確認する。
- (2) キャビネット側板にエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがく。
- (3) けがき位置に下穴(φ2.5×深さ5)を開ける。 ※下穴を貫通させないこと。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじ(φ3.5×13)を取り付ける。
※その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじ高さを調節してください。
- (5) 一旦、エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、前から差し込む。

〈L寸法〉

※キャビネット高さ300mmの場合はL寸法にカットしてください。

キャビネット高さ	L
300	300
400	カットなし

取付ねじ(φ3.5×13)(4本)
※エンドスペーサーに付属されています

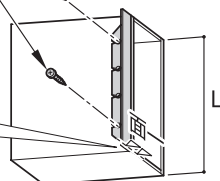


【ツール用ウォールキャビネットの場合】

取付ねじ(φ3.5×13)(2本)
※エンドスペーサーに付属されています

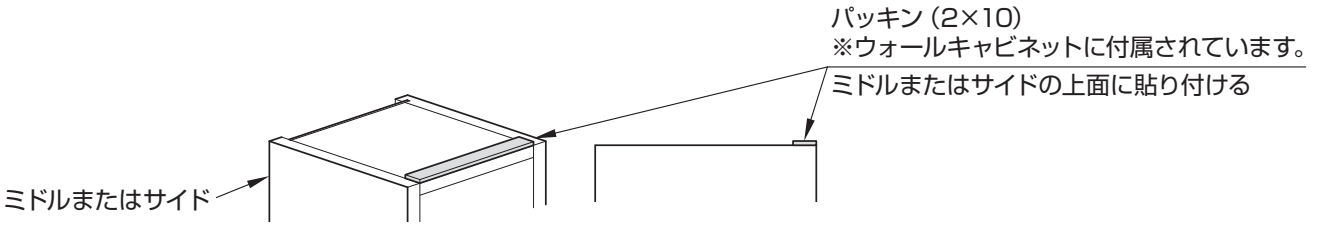


キャビネットと前面および下面を合わせてください。



3) パッキンの取り付け

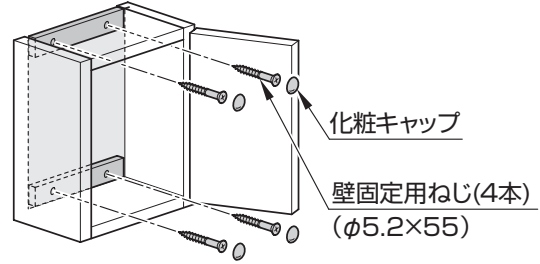
【ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットまたはサイドキャビネットがある場合】



4) キャビネットの取り付け

1) キャビネットの壁固定

- 付属の壁固定用ねじで固定してください。
※壁不陸がある場合、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。



【化粧鏡の上部に設置する場合】

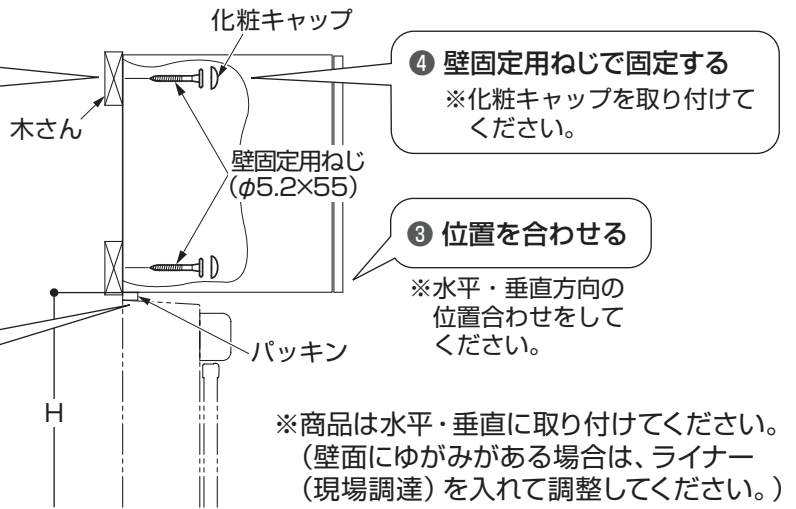
※番号順に取り付けてください。

2) ウォールキャビネットをセットする

- ※化粧鏡にのせないでください。
必ずH寸法(設置寸法)に合わせて、ウォールキャビネットを設置してください。
※化粧鏡とのすき間はパッキンで埋まります。

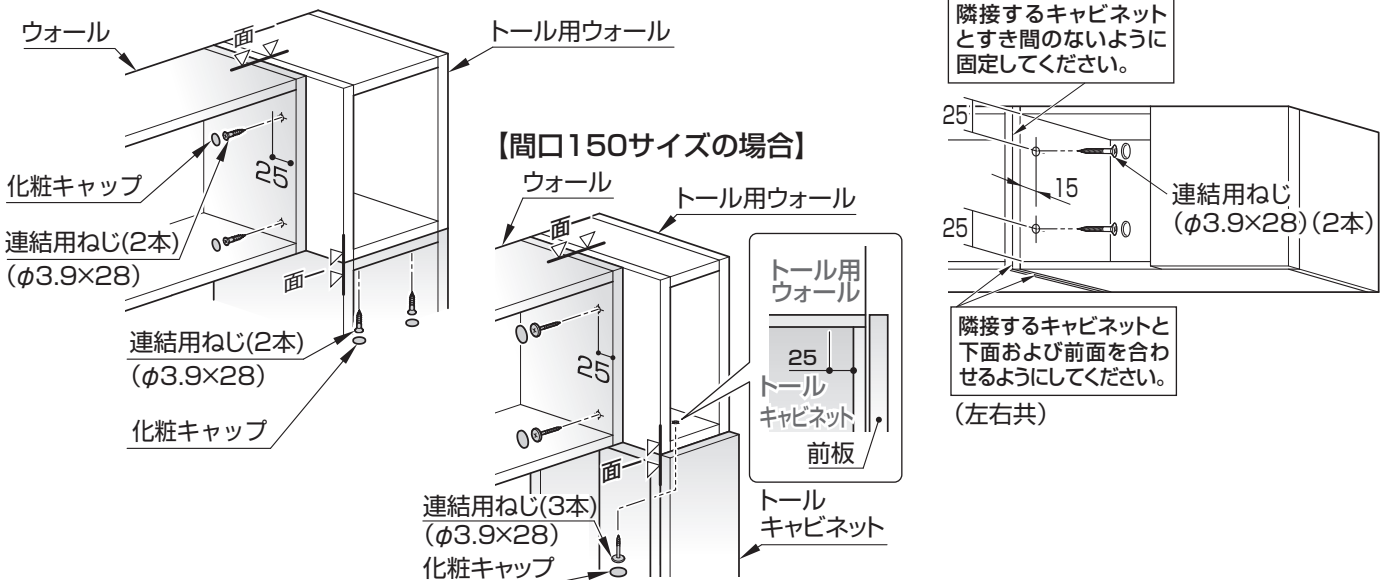
1) 底板下面奥側に付属のパッキンを必要な長さにカットして貼り付ける

※ウォールキャビネットに付属されています。



2) キャビネットの連結【隣接するキャビネットがある場合】

- キャビネットの内側より連結用ねじで隣接するキャビネットと固定してください。
※連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



4

ウォールキャビネットの取り付け手順

5. 仕上げ

1) コーキング処理

⚠ 注意



シリコン系シーリング材を充てんする

必ず実行 水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

※バックパネルなど、シーリングパッキンの付いた部材をカウンターの上にのせる場合、正面部はシリコン系シーリング材不要です。

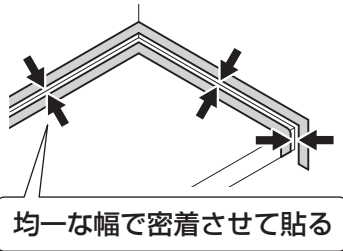
※カウンターと壁あるいは隣接キャビネットおよび洗面器まわりに、防カビ性のシリコン系シーリング材を充てんしてください。

※推奨カラーは下表を参考にしてください。

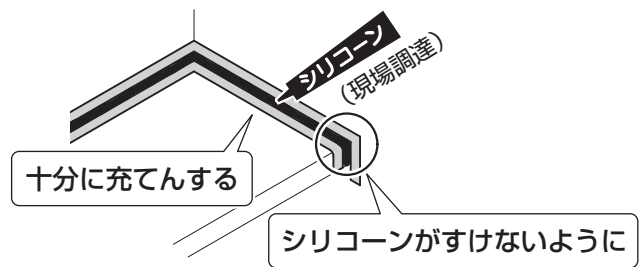
シリコン系シーリング材推奨色	カウンター色
ホワイト	彩糸(いろいろ)
	クリスタルスノー
	オニックスマットホワイト
	グラニットホワイトストーン ホワイト
ベージュまたはアイボリー	クリスタルグレイジュ オニックスマットベージュ
ライトグレー	クリスタルグレー
グレー	霞(かすみ)
ブラック	グラニットアマーロブラック

コーキング処理の手順

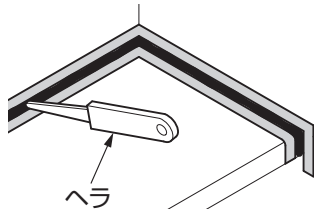
① マスキングテープを貼る



② シリコン系シーリング材を充てんする



③ ヘラを使って凸凹がないように仕上げ、マスキングテープをはがす



2) 壁やトールキャビネットとの処理

⚠ 注意

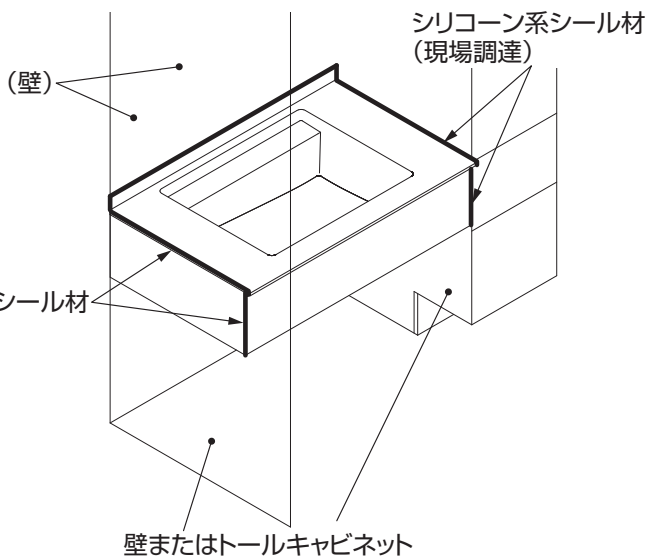


シリコン系シーリング材を充てんする

必ず実行 水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

※バックパネルなど、シーリングパッキンの付いた部材をカウンターの上にのせる場合、正面部はコーキング不要です。

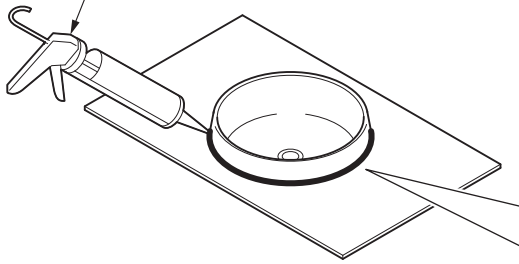
●カウンターと壁、またはトールキャビネットとの隣接部はシリコン系シーリング材(現場調達)でシリールしてください。



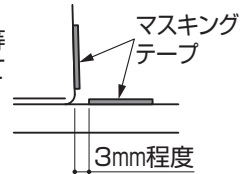
3) 陶器製洗面ボウル(ベッセル式)洗面器まわりの処理

- TA洗面器はコーキング不要です。
- カウンターと洗面器にマスキングテープを貼り、洗面器まわりにシリコン系シール材(現場調達)を充てんしてください。

シリコン系シール材
(現場調達)



※マスキングテープを使用し、きれいに仕上げてください。幅が太くならないように均等にマスキングテープを貼ってください。

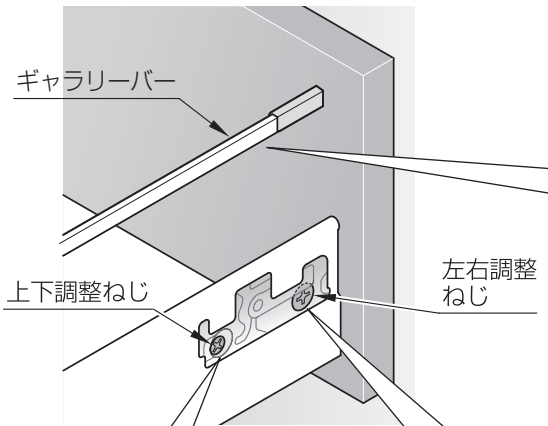


4) 扉・引き出しの取り付け・調整

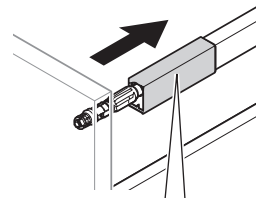
引き出しの前板がずれているとき

■ギャラリバー+カバー付きねじタイプ

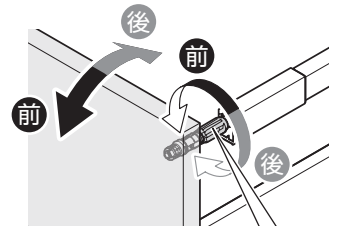
【調整方法】



〈傾き調整〉

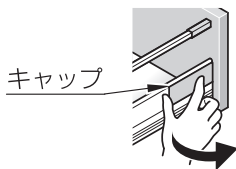


① カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



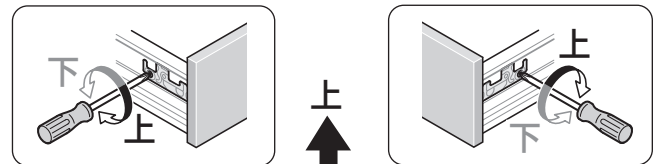
② 中の部品を回転させて調整する

① キャップを取り外す

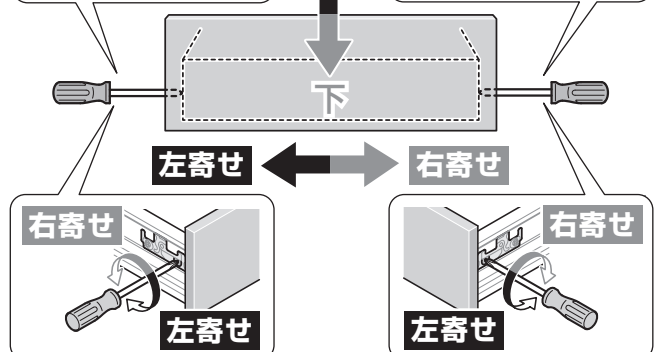


② 上下・左右調整ねじで調整する
※片側だけの調整では動きません。
必ず両側のねじで調整を行ってください。

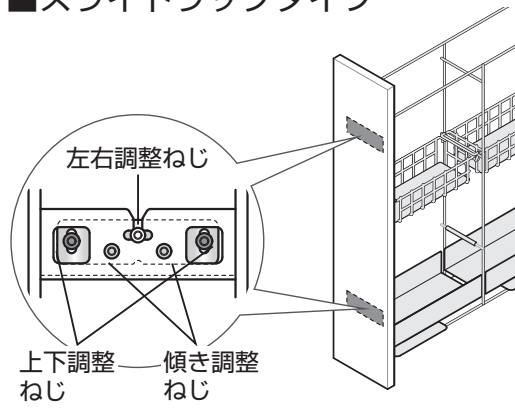
〈上下のずれ〉
上下調整ねじで調整する



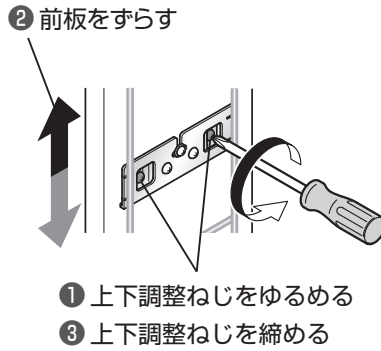
〈左右のずれ〉
左右調整ねじで調整する



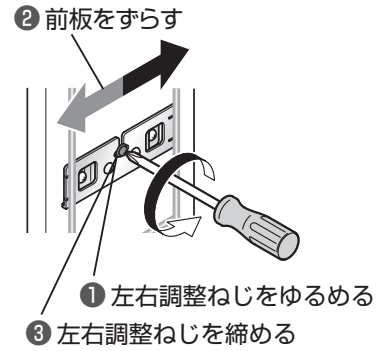
■スライドラックタイプ



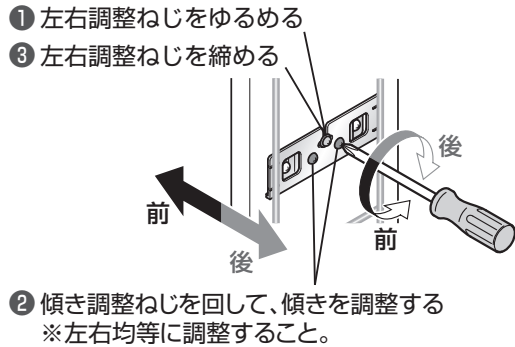
上下の調整



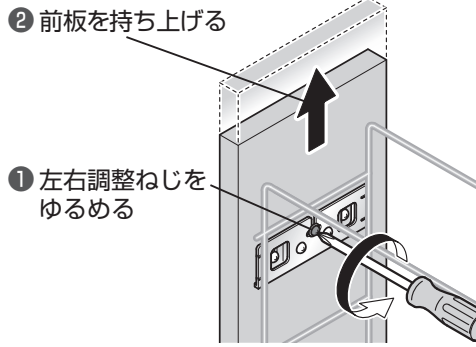
左右の調整



傾き調整



前板の取り外しかた

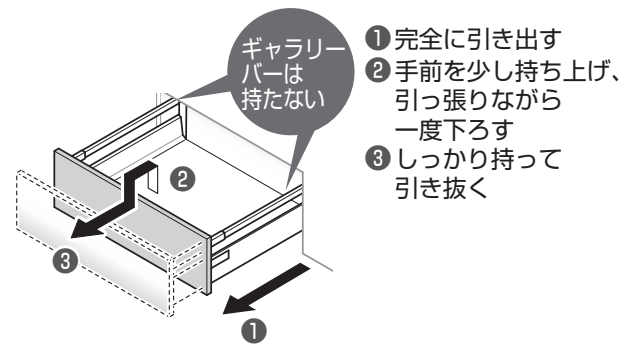


前板の取り付けかた

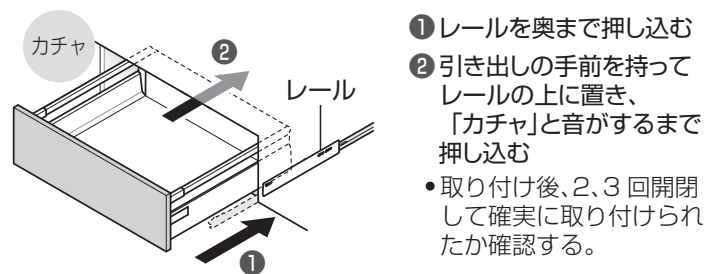
取り外しと逆の手順で取り付ける

引き出しを外すとき

■ギャラリバー+カバー付きねじタイプ



取り付けかた



⚠ 注意

禁止

ギャラリバー部分を持たない

ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをすることがあります。

ギャラリバー

必ず実行

引き出し取り付け後は必ず引き出しを2～3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをすることがあります。

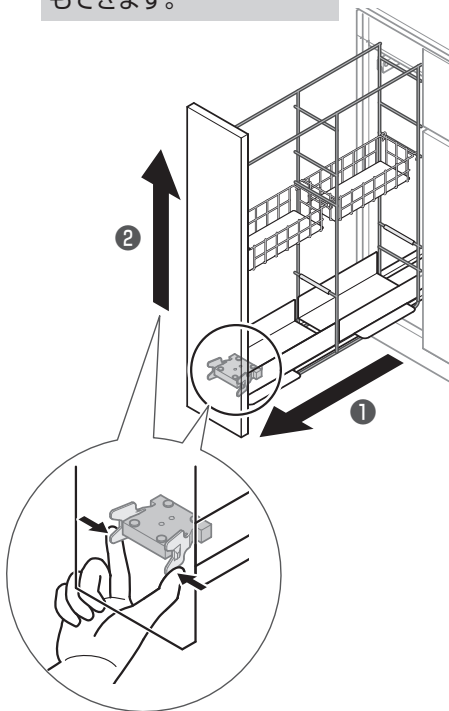
4 扉・引き出しの取り付け・調整 (つづき)

■スライドラックタイプ

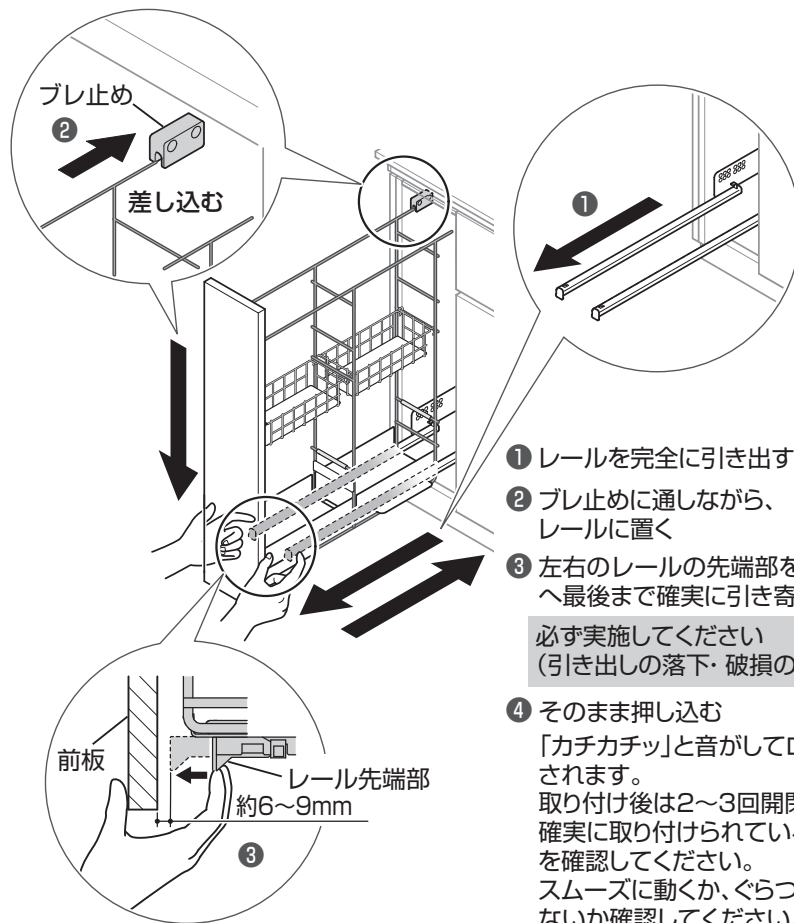
無理に外さないでください
(作動不良や破損の原因)

- 引き出しを完全に引き出す
- レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる

内側のトレイを外し、外側からレバーを操作することもできます。



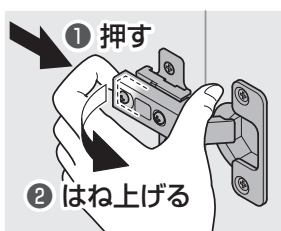
取り付けかた



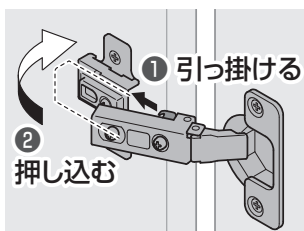
- レールを完全に引き出す
- プレ止めに通しながら、レールに置く
- 左右のレールの先端部を前板側へ最後まで確実に引き寄せる
必ず実施してください
(引き出しの落下・破損の原因)
- そのまま押し込む
「カチカチ」と音がしてロックされます。
取り付け後は2~3回開閉して、確実に取り付けられていることを確認してください。
スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。

扉を外すとき

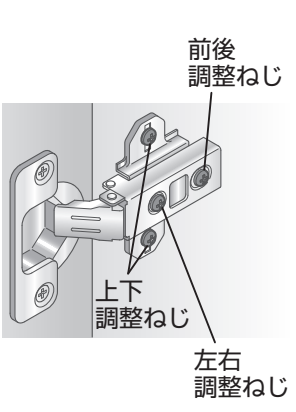
【取り外し】



【取り付け】

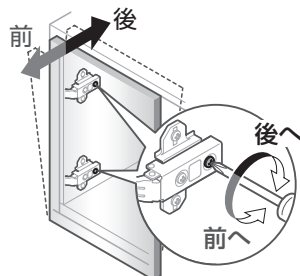


扉がずれているとき



前後の調整

左扉も右扉も
右回しで後へ
左回しで前へ動きます



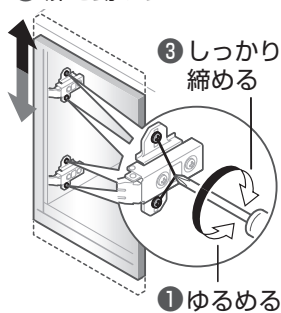
左右の調整

左扉も右扉も
右回しで内側へ
左回しで外側へ動きます



上下の調整

2 扉を動かす



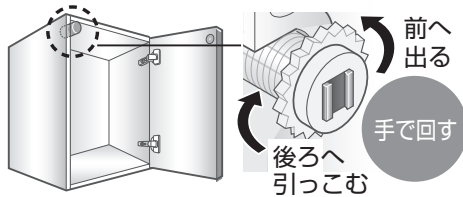
扉がすぐに開くとき/ずれているとき

■ 押すと開くタイプの扉

■ 鏡扉

前後の調整

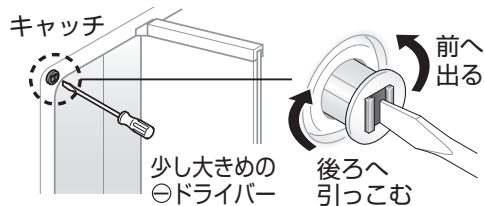
押しても開かない/すぐに開いてしまうときに。



• 扉が開かないときは、左に回す。

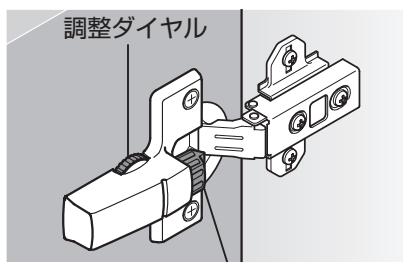
前後の調整

前後にずれているときに。



扉を閉じるときのスピード調整のしかた

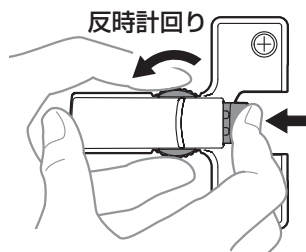
※上側の丁番のみ



サイレントシステム

速く閉める

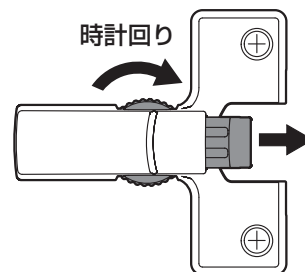
サイレントシステムを押しながら調整ダイヤルを反時計回りに回す
※サイレントシステムが縮みます。



※本図は左扉の調整方法を示します。右扉でも回す方向は変わりません。

遅く閉める

サイレントシステムを押さずに調整ダイヤルを時計回りに回す
※サイレントシステムが伸びます。



⚠ 注意



電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをすることがあります。



調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する

必ず実行 扉が落下してけがをすることがあります。

5) 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- キャビネットが壁に確実に固定されているか確認してください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

有機溶剤（シンナー・アセトンなど）の使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。

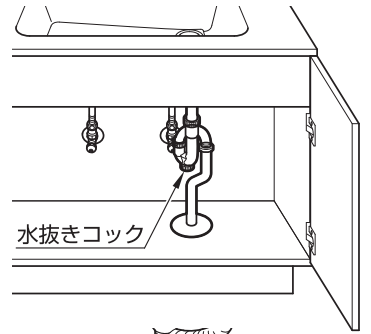
6) 寒冷地タイプの水抜き

⚠ 注意



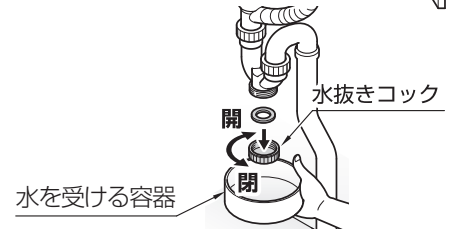
必ず実行

- ・凍結のおそれがある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをする
お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- ・水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。



【排水トラップの水抜き】

- ① 水を受ける容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開ける
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じる
ハンドシャワーを元の位置にもどしたあと、水抜きトレイを元の位置にもどしてください。



【水栓の水抜き】

水栓の水抜きについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。